

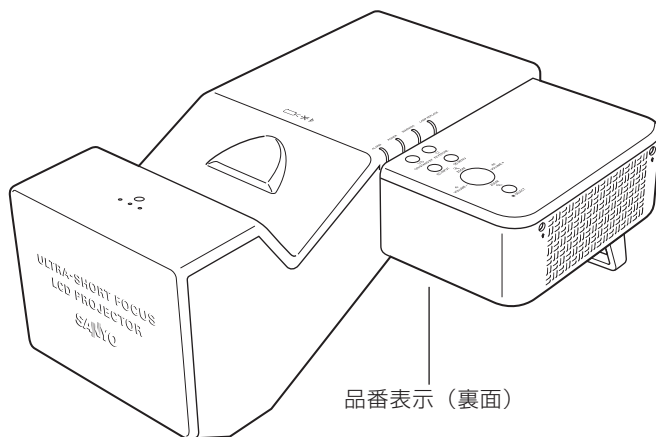
液晶プロジェクター 品番 LP-XL50

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに4～14ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と一っしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。

お買い上げ商品の品番は裏面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の () 内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XL50 の特長

1024x768ドットの高分解像度液晶パネル採用。

XGA画像をリアル表示。

WXGA、SXGA、SXGA+、UXGAを圧縮表示(アナログ)。

プロジェクターとスクリーンの距離が近くても大画面投映可能で、省スペースでも設置可能。

使用後すぐに持ち運びができる。

- ファンの停止を待たずに、電源コードを抜くことができます。

振動感知式オーディオアラーム搭載

- プロジェクター本体が振動を感知すると、警告を発します。常時設置時などのセキュリティ対策に役立ちます。

暗証番号を登録してセキュリティ強化

- 「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。

ランプの明るさが調整できるランプコントロール機能

電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

さまざまな設置方法に対応

- 天吊り
- 据置
- リア投映
- 垂直方向全方位投映 (12ページ参照)

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「自動PC調整」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータモード時)
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン(台形補正)」機能。
- 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- 画面を一時的に消す「NO SHOW」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER(プレゼンテーションタイマー)」機能。
- 「アンプ・スピーカー」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能。
- 「黒(緑)板」「カラーボード」モードでスクリーンがなくても黒(緑)板や色のついた壁などに投映して通常のスクリーンに投映したときの色合いを再現。




ランプの交換時期を画面表示でお知らせ

キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリジナルの起動画面を作ることが可能。

海外の映像システムにも対応できる6カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

～本説明書中の記号について～

	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。例：[SELECT] ボタン、[INPUT1 DIGITAL] 端子
[メニュー]名	メニューの項目を示しています。例：「インプット」、「セッティング」

* 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

はじめに-----	4	各種機能の設定 -----	62
安全上のご注意	4	「セッティング」メニューで	
正しくお使いいただくために	10	各種機能の設定をする	62
準備 -----	15	その他の機能 -----	82
付属品を確認してください	15	振動感知式オーディオアラーム	
機器をつなぐ端子	17	(盗難防止アラーム)	82
操作パネルとインジケータ	18	保守とお手入れ -----	87
リモコンのボタン-1	19	ランプの交換	87
リモコンのボタン-2	20	お手入れについて	89
設置・接続 -----	23	内部温度の上昇について	91
設置のしかた	23	インジケータ表示と	
接続の例 ~コンピュータ	26	プロジェクターの状態	93
接続の例 ~ビデオ1	27	故障かなと思ったら	95
接続の例 ~ビデオ2	28	付 録 -----	100
電源コードを接続する	29	コンピュータ	
基本操作 -----	31	システムモード一覧	100
電源を入れる・切る	31	メニュー内容一覧	103
入力信号を選択する	36	仕様	107
投映画面の調整や		(別売品	109)
その他の操作	37	保証とアフターサービス --	115
オンスクリーンメニューの			
操作方法	43		
入力の選択・設定・調整 ----	46		
入力を切り換える	46		
コンピュータシステムの選択 ..	49		
ビデオシステムの選択	50		
コンピュータシステムの調整 ..	51		
イメージの調整	55		
画面サイズの調整	59		

はじめに

準備

接続
設置

基本
操作本

設定
力
の
調
整
整
理

各
種
機
能
の
設
定

そ
の
他
の
機
能

保
守
と
入
れ

付
録

保
証
と
ア
フ
タ
ー
サ
ー
ビ
ス

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。



してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。



しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

警告



警告



電源プラグをコンセントから抜け

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・煙が出ている
- ・変なにおいや音がする
- ・水など液体が本機の内部に入った
- ・金属類や異物が本機の内部に入った
- ・画面が映らない
- ・音が出ない
- ・大きな音が出てランプが消えた



禁止

故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



警告



電源プラグをコンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



分解禁止



感電注意

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないで下さい。



警告



禁止



水ぬれ禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁止

不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



警告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分なときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

吸気口・排気口にご注意下さい。

- ・ ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- ・ 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・ 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



警告



禁止

電源コードの取扱に注意してください。

- ・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。
- ・電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- ・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- ・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。(結露するところや水槽の近くには特にご注意ください)
- ・電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- ・電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせしないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。



禁止

本機やリモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



アース線を
接続せよ

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。(詳しくは、30 ページをご覧ください。)

⚠ 警告



使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

⚠ 注意



禁 止

以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほごりの多い場所に置かないでください。
- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



禁 止

ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・ 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。
- ・ 空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
- ・ 次のような使い方はしないでください。
 - * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
 - * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - * じゅうたんや布団の上に置く。
 - * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものからじゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。(吸気面50cm、排気口1m以上)

⚠ 注意



注意

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。
特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



電源プラグを
コンセントから
抜け

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。



注 意

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。

本体の後脚部をつかんで、持ち運ばないでください。また、持ち運ぶときは、本体がじゅうぶんに冷えてから専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 電波障害自主規制について ●

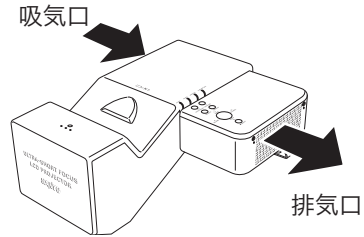
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・ スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・ 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・ 観葉植物やペットを置かないでください。
- ・ 熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・ 排気口付近には視聴席を設けないでください。



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

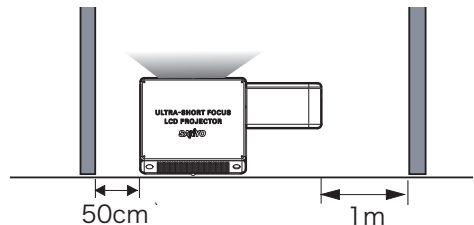
湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	-10℃～60℃
--------	--------	--------	----------

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。

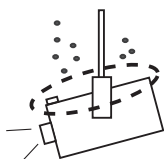
(吸気面 50cm、排気口 1m 以上)



● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

天井から吊り下げてご使用になるときに



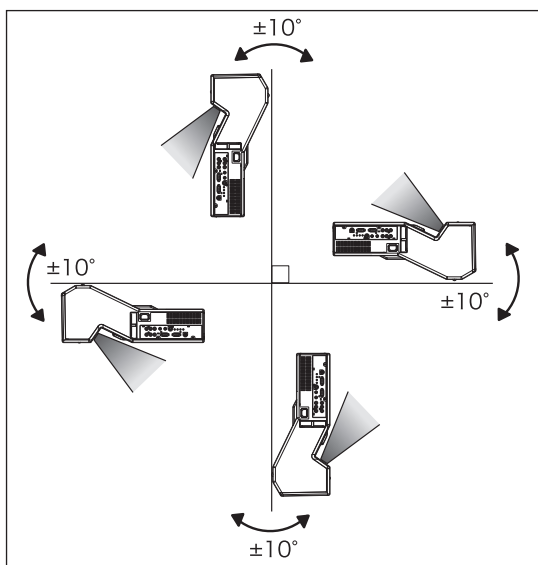
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についてのホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

正しい方向に設置してください

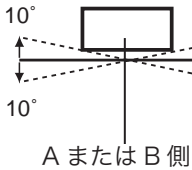
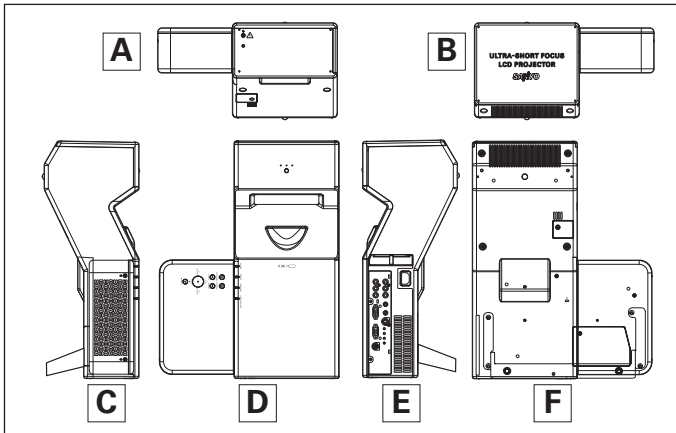
プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。

本機は、据え置き・天吊り・壁掛けで設置可能です。天井から吊り下げて設置するときや壁掛けで設置するときは、落下しないようにしっかりと固定してください。設置については、お買い上げの販売店にご相談ください。

※ レンズを水平方向から下に向けて設置するとき、向きによっては投映画面の設定を「天吊り」にしてください。設定方法は 69 ページを参照してください。



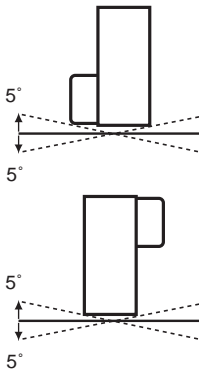
以下の方向では使用しないでください



プロジェクターの左右方向の傾きは各10度以内としてください。



C または E 側を下にして置かないでください。



A または B 側が下にあるとき、プロジェクターを5度以上傾けて設置しないでください。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従って行ってください。

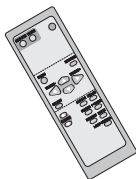
準備

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

準備

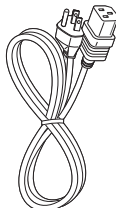
① リモコン (CXWW)



② リモコン用アルカリ乾電池 (単3形2本)



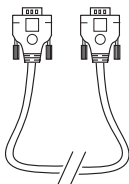
③ 電源コード



④ 電源プラグアダプタ



⑤ コンピュータケーブル (D-sub 用)



⑥ 取扱説明書 (本書)



⑦ 保証書



⑧ お客さま相談窓口一覧



⑨ PIN code lock シール *



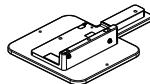
⑩ Alarm protected シール **



⑪ 交換用ランプ品番シール ***



⑫ 縦置きスタンド

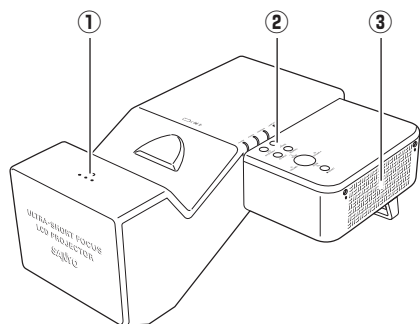


* 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞ 112、113 ページ

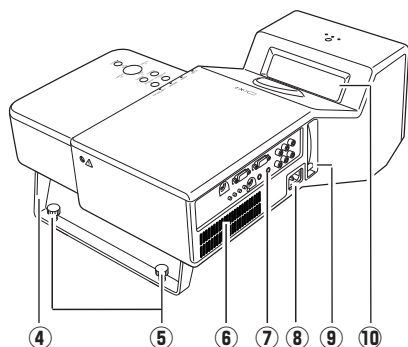
** プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、振動感知式アラームを設定したことを表示するのにご使用ください。☞ 112、113 ページ

*** プロジェクターを天吊りで設置するときに、交換用のランプ品番を確認しやすくするために、目立ちやすい箇所に貼り付きます。☞ 112、113 ページ

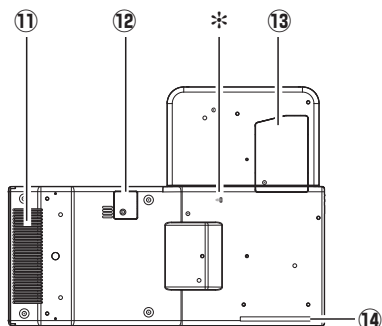
前面



後面



底面



ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

- ① リモコン受信部 ※1
- ② 操作パネル・インジケータ
- ③ 排気口 ※2
- ④ 後脚部
- ⑤ 調整脚
- ⑥ 吸気口 ※3
- ⑦ 側面端子
- ⑧ 電源コード接続ソケット
- ⑨ フォーカスレバー
- ⑩ 投映窓
- ⑪ スピーカ
- ⑫ 充電電池カバー
- ⑬ ランプカバー
- ⑭ エアフィルター

* 盗難防止用ロック穴

盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

※1



リモコン受光部は本体より少し飛び出しています。この面を下にして置くときは傷がつかないように、柔らかい布を敷いてください。直接机や床の上に置くと、リモコン受光部が破損するおそれがあります。

※2



スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火事の原因となります。

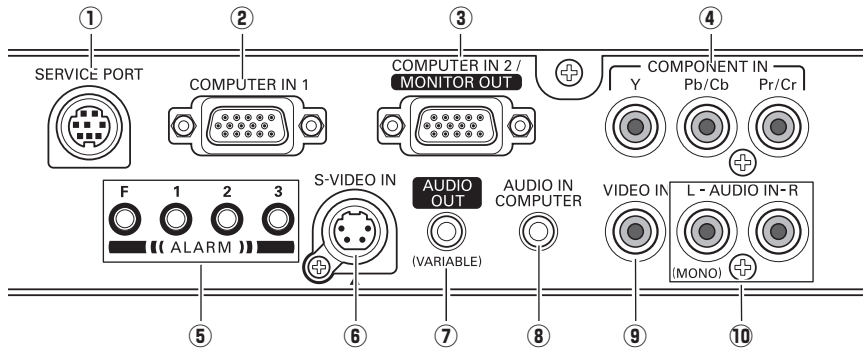
※3



内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないようにください。

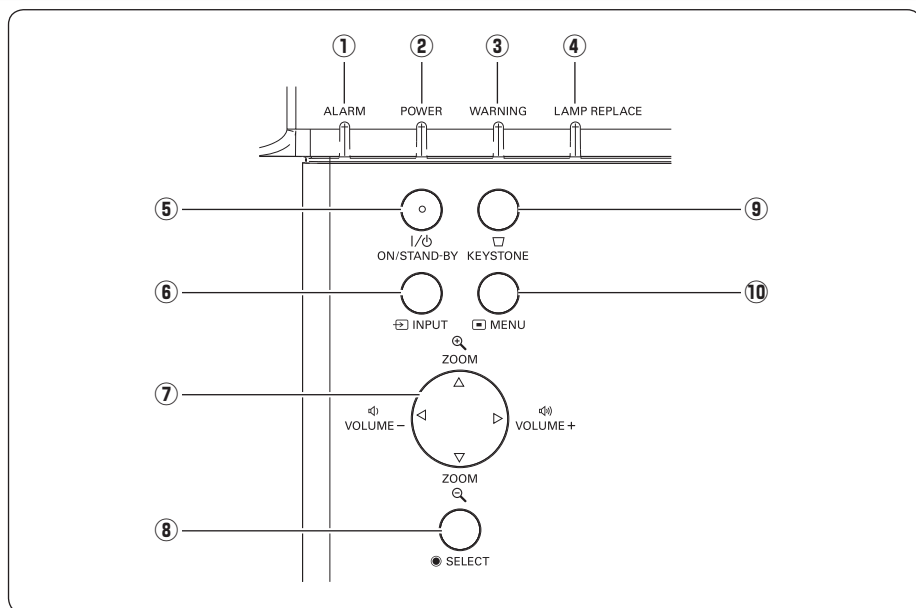
機器をつなぐ端子

側面端子



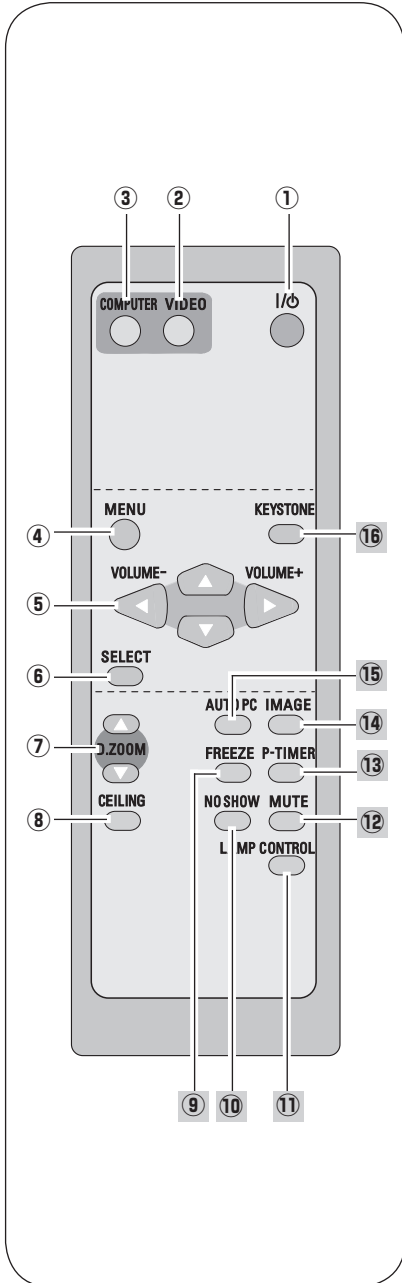
- ① **SERVICE PORT (サービス用端子)**
 サービスマン用の端子です。
- ② **COMPUTER IN 1 (コンピュータ入力端子)**
 ☞ 26 ページ
 コンピュータからの信号を入力します。接続には付属のコンピュータケーブル (D-sub 用) を使用します。
 ※ 市販の長いコンピュータケーブルを使うときは、この端子に接続してください。
- ③ **COMPUTER IN 2/MONITOR OUT (コンピュータ入力 / モニター出力端子)**
 ☞ 26 ページ
 コンピュータからのアナログ信号を入力します。また、コンピュータのモニター出力として切り換えて使用することができます。接続には付属または市販のコンピュータケーブル (D-sub 用) を使用します。
- ④ **COMPONENT IN (コンポーネント入力端子)**
 ☞ 28 ページ
 ビデオ機器からのコンポーネント信号 (Y, Pb/Cb, Pr/Cr) を入力します。接続には市販のビデオケーブルを使います。
- ⑤ **アラーム設定ボタン** ☞ 82 ページ
 「振動感知式オーディオアラーム」の設定をするときに使用します。
- ⑥ **S-VIDEO IN (S 映像入力端子)**
 ☞ 27 ページ
 ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。
- ⑦ **AUDIO OUT (音声出力端子) (可変)**
 ☞ 26 ~ 28 ページ
 ⑧ または ⑩ に接続された、投映中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。
- ⑧ **AUDIO IN COMPUTER (コンピュータ音声入力端子)** ☞ 26 ページ
 ② または ③ に接続された、コンピュータからの音声出力 (ステレオ) をこの端子に接続します。
- ⑨ **VIDEO IN (ビデオ入力端子)**
 ☞ 27 ページ
 ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。
- ⑩ **AUDIO IN (音声入力端子)**
 ☞ 27, 28 ページ
 ④⑥⑨ のいずれかに接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は [L (MONO)] 端子へ接続してください。

操作パネルとインジケータ




- ① **ALARM** インジケータ アラーム  82 ページ
設定状況や、電池の状態を知らせるときに赤く点滅します。
- ② **POWER** インジケータ パワー  91、93、94 ページ
プロジェクターの状態を示します。
点灯（赤）：電源を入れる準備ができました。
点滅（赤）：ランプの冷却中です。
点灯（緑）：プロジェクターは動作中です。
点滅（緑）：パワーマネジメントモードがはたらいています。
- ③ **WARNING** インジケータ ワーニング  91、93、94 ページ
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。
- ④ **LAMP REPLACE** インジケータ ランプリプレイス  87、93、94 ページ
ランプの交換時期を知らせます。
- ⑤ **I/O ON / STAND-BY** ボタン オン スタンバイ  31、34 ページ
電源を入り・切ります。
- ⑥ **INPUT** ボタン インプット  36、46 ページ
インプット（入力）を切り換えます。
- ⑦ **VOLUME/ZOOM/ ポイント** ボタン ボリューム ズーム  37、42、43 ページ
オンスクリーンメニューのポイントの移動や各種メニューの調整、音量の調整、ズーム機能の調整に使用します。
- ⑧ **SELECT** ボタン セレクト  43、60 ページ
ポイントの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- ⑨ **KEYSTONE** ボタン キーストーン  39 ページ
画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。
- ⑩ **MENU** ボタン メニュー  45 ページ
メニューバーを表示します。


リモコンのボタン-1





オン/スタンバイ


- ① **I/O ボタン**  31、34 ページ
電源を入り・切りします。


- ② **VIDEO ボタン**  36 ページ
入力をビデオに切り換えます。

- ③ **COMPUTER ボタン**  36 ページ
入力をコンピュータに切り換えます。

- ④ **MENU ボタン**  45 ページ
メニューバーを出します。

- ⑤ **VOLUME/ZOOM/ポイント ボタン**
 30、31 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整、音量の調整、ズーム機能の調整に使用します。

- ⑥ **SELECT ボタン**  43、60 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

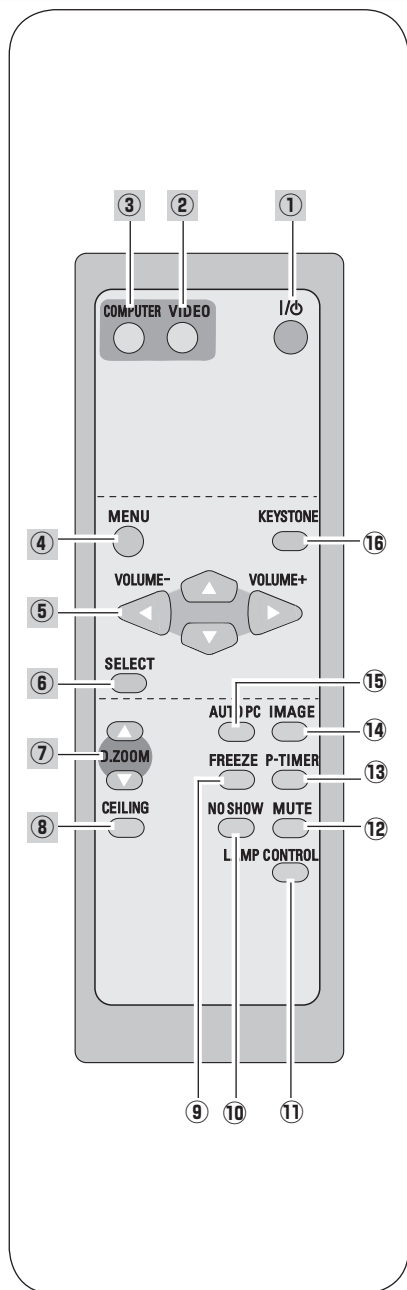
- ⑦ **D.ZOOM ボタン**  43 ページ
デジタルズームの操作をします。

- ⑧ **CEILING ボタン**  40 ページ
画像の向きを調整します。

⑨ 以降は次ページへ

準備

リモコンのボタン -2



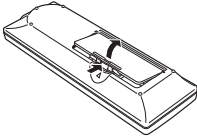
- ⑨ **FREEZE ボタン**  39 ページ
画面を一時的に静止させます。
- ⑩ **NO SHOW ボタン**  40 ページ
画面を一時的に消します。
- ⑪ **LAMP CONTROL ボタン**  38 ページ
ランプモードを選択します。
- ⑫ **MUTE ボタン**  42 ページ
音声を一時的に消します。
- ⑬ **P-TIMER ボタン**  41 ページ
プレゼンテーション（ボタンを押してから）の経過時間を表示させます。
- ⑭ **IMAGE ボタン**  38 ページ
イメージモードを選択します。
- ⑮ **AUTO PC ボタン**  51 ページ
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。
- ⑯ **KEYSTONE ボタン**  39 ページ
画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。

電池の入れかた

準備

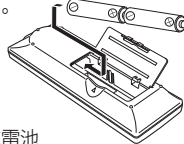
1 電池カバーを開けます。

ツメの部分を押して、引き上げます。



2 電池を入れます。

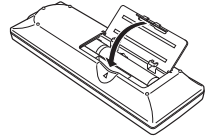
付属の乾電池を+（プラス）、-（マイナス）に注意して入れます。



使用乾電池
単三形アルカリ乾電池 2 本

3 電池カバーを閉めます。

カチッと音がするまでしっかり閉じます。



⚠ 電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・+極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。



注意 禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

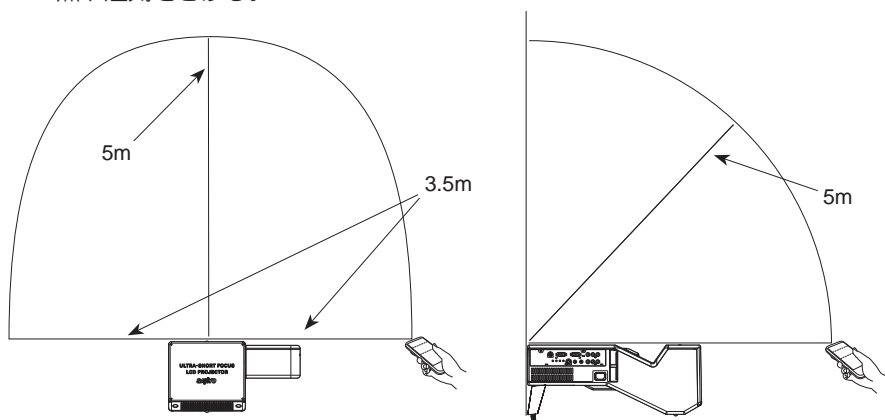
リモコンで操作できる範囲

準備

リモコンで離れて操作できる範囲は、リモコン受信部から約 3.5 ～ 5m 以内です。
(下図参照)

⚠ リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。



※ 間に障害物があると操作の妨げになります。

リモコンコードの設定

本機は 2 種類のリモコンコードの設定が可能です。2 台のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコードに変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。

たとえば、本機（プロジェクター）を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。

リモコンコードの切り換え方

リモコンの [MENU] と [IMAGE] ボタンの両方を同時に 5 秒以上押すと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。また、長期間電池を入れずにいると、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。

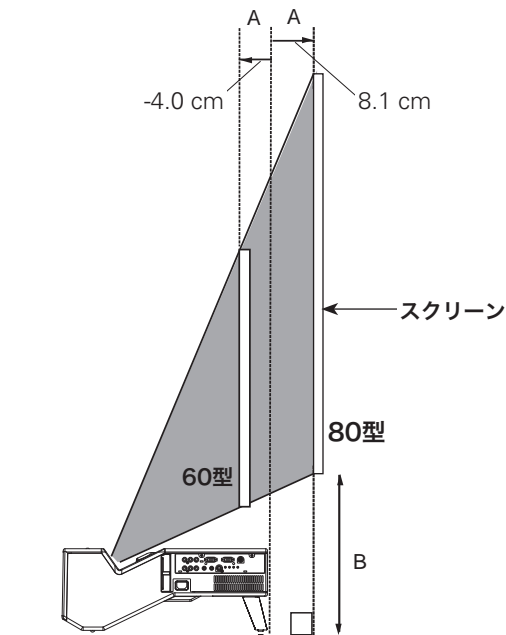
設置・接続

設置のしかた

スクリーンからのおよその投映距離と画面サイズの関係

画面サイズはプロジェクターのレンズ（投映窓）からスクリーンまでの距離によって決まります。また、本体はスクリーンの面と垂直になるように設置してください。

設置
接続



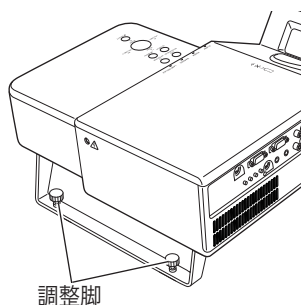
スクリーンサイズ (幅 x 高さ : mm) アスペクト比横4 : 縦3	60型	70型	80型
A	-4.0 cm	2.1 cm	8.1 cm
B	30.8 cm	33.7 cm	36.5 cm

💡 メモ

- 本機には、光学ズーム機能はありません。スクリーンサイズを調節するには、投映距離を変えてください。
- 投映距離はレンズ設計仕様に基づくおよその計算値です。プロジェクターはそれぞれ異なる特性があり、実際にプロジェクターを設置したときの画面サイズとは異なる場合があります。投映画面を確認して設置してください。
- スクリーンの投映面が湾曲していたり、凹凸があると映像が正しく映らないことがあります。

投映画面の高さと傾きを調整する

後脚部にある、本体後方の2つの調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。
最大約1.0度まで上がります。



お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。



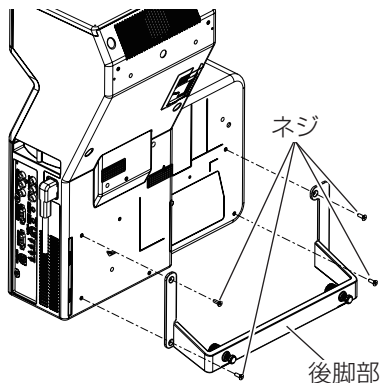
ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

後脚部と縦置きスタンドの交換方法

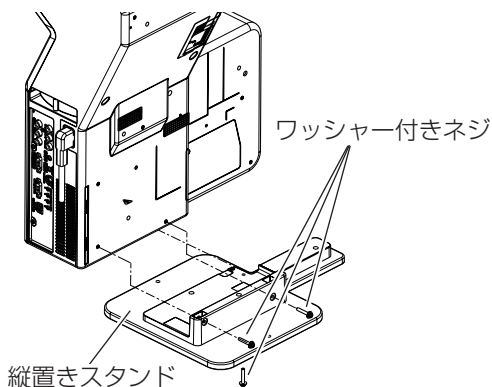
後脚部の取りはずし方

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2 4本のネジを取り外します。



縦置きスタンドの取り付け方

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2 3本のネジ（ワッシャー付き）を締めて、取り付けます。



※ 縦置きスタンドは付属品です（☞ 15、108ページ）

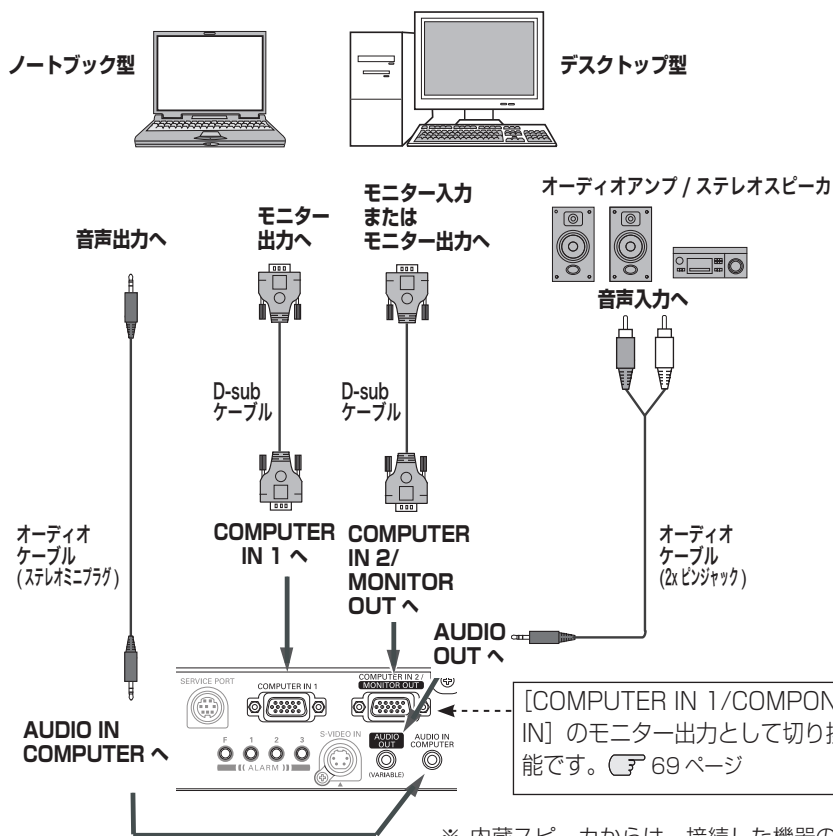
接続の例 ～コンピュータ

接続に使用するケーブル (* = 市販のケーブルをお使いください。)

- D-sub ケーブル
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ *, または 2x ピンジャック *)

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの [Fn] キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



接続するときの注意:

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってください。

※ 内蔵スピーカーからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカーから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

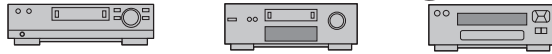
接続の例 ～ビデオ 1

接続に使用するケーブル

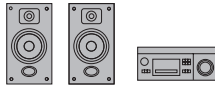
- ビデオ ケーブル (3x ピンジャック)
- S ビデオ ケーブル (ミニ DIN 4 ピン)
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック)

※本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

ビデオ / ビデオディスク プレーヤ



オーディオアンプ / ステレオスピーカ



音声入力へ



※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

オーディオケーブル (2x ピンジャック)

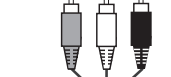
S 映像出力へ



S-ビデオケーブル

コンポジット映像出力へ

VIDEO, (L), (R)

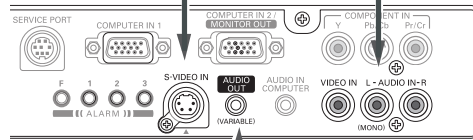


コンポジットケーブル

VIDEO IN (L) (R)

S-VIDEO IN へ

VIDEO IN L-AUDIO IN-R へ



AUDIO OUT へ

※ 複数のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入（信号の有無ではない）を検知して、

- 1) Component → 2) S-Video → 3) Video の接続順位で入力端子を自動選択します。接続されている入力端子が選択されないときは、信号選択メニューでポインタを合わせ、[SELECT] ボタンで選択してください。

48 ページ

接続するときのご注意：

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってください。

接続の例 ～ビデオ 2

接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル (3x ピンジャック)
- S ビデオ ケーブル (ミニ DIN 4 ピン)
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック)

※本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

ビデオ / ビデオディスク プレーヤ

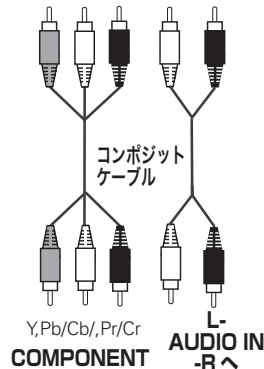


オーディオアンプ / ステレオスピーカ



音声入力へ

コンポーネント
映像出力へ 音声入力へ



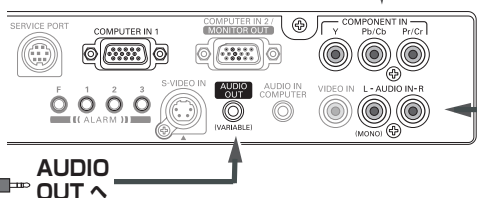
コンポジット
ケーブル

Y,Pb/Cb,Pr/Cr
COMPONENT
IN へ

L-AUDIO
IN-R へ

※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

オーディオ
ケーブル
(2xピンジャック)



オーディオ
ケーブル

※ 複数のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入（信号の有無ではない）を検知して、

- 1) Component → 2) S-Video → 3) Video の接続順位で入力端子を自動選択します。接続されている入力端子が選択されないときは、信号選択メニューでポイントを合わせ、[SELECT] ボタンで選択してください。

☎ 48 ページ



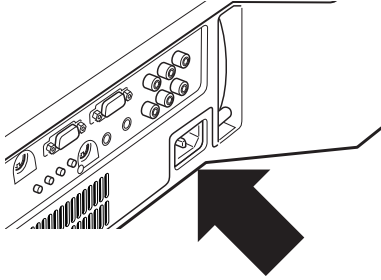
接続するときのご注意：

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

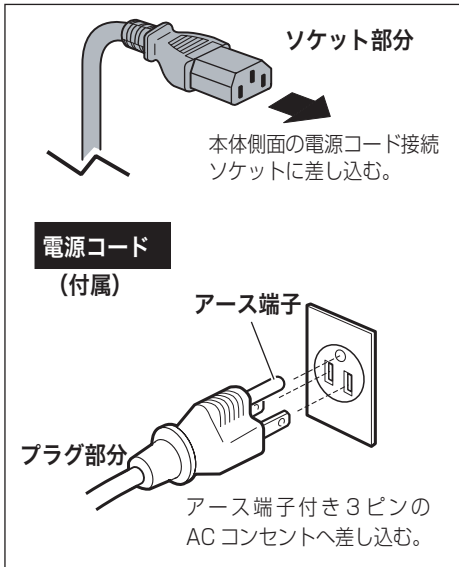
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、17、26～28 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。



⚠ 電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

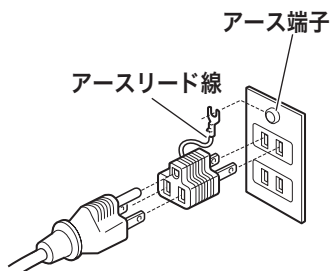
⚠ ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンや操作パネルの [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンで電源を切っても約 10W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

⚠ 電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き 3 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが 2 ピン専用 (アース端子がない) 場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線ははずしてください。



基本操作

電源を入れる・切る

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、17、26～28ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードを AC コンセントに接続します。(☞ 29ページ)
[POWER] インジケータ(赤)が点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの [I/O] (ON/STAND-BY) ボタン* を押して電源を入れます。*
[POWER] インジケータが赤から緑の点灯にかわります。

約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン**が終わると画像が映ります。

スタート時画面左上に「ランプコントロール」(☞ 72ページ)と「インプットモード*」が約 4 秒間表示されます。

このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」(☞ 74ページ)を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。

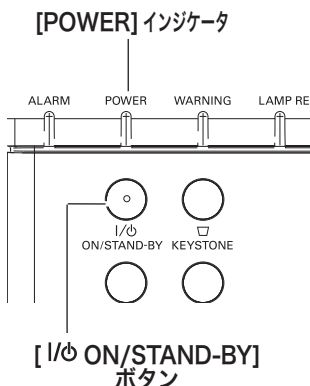
* 暗証番号の入力方法は 33 ページを参照ください。

- * 1) セッティングメニューで「オンスタート・オン」(☞ 71ページ)に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
- 2) セッティングメニューで「自動入力切替・オン 2」(☞ 70ページ)に設定しているときは、電源が入ると同時に入力信号の検出を始めます。

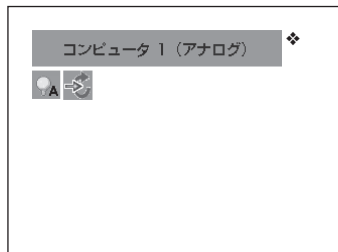
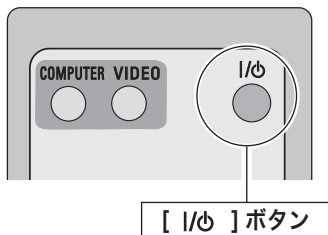
** セッティングメニューで、

- ・「オンスクリーン表示・オン」(☞ 64ページ)、「ロゴ選択・オフ」(☞ 64ページ)に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- ・「オンスクリーン表示・オフ」(☞ 64ページ)に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞ 64ページ)の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。
- ・「オンスクリーン表示・カウントダウンオフ」(☞ 64ページ)に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞ 64ページ)の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

* リモコンの [I/O] ボタン、操作パネルの [I/O ON/STAND-BY] ボタンはまとめて、[I/O (ON/STAND-BY)] ボタンと表記します。



リモコン



ランプモード、インプットモード、自動入力切替の表示 *



エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。(P.78～80 ページ)

※ 表示は約 4 秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示・オフ」(P.64 ページ) に設定しているときは、表示されません。

ランプ交換



フィルター警告



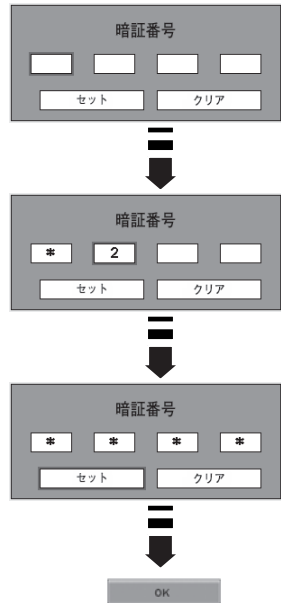
電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押しても電源は入りません。

暗証番号の入力

※ 「電源を入れる」(☞ 31 ページ) 1・2 に続いて・・・

- 3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、31 ページ「手順 2」でカウントダウン★が終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポイントを 2 けた目に移動します。(1 けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。
- 5 4 けた全ての数字を入力したらポイントを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。
- 6 [SELECT] ボタンを押して決定します。
 - ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
 - ※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポイントを合わせて [SELECT] ボタンを押します。
- 7 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。
 - 暗証番号が入力されないと約 3 分後に電源が切れます。



「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。

詳しくは 74 ページの「セッティング」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照ください。

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。
電源が切れると [POWER] インジケータが消え、ランプの冷却を始めます。



もう1度押すと電源が切れます

※ 表示は約 4 秒間出ます。

電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押しても電源は入りません。[POWER] インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5 分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、[I/O (ON/STAND-BY)] ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

投映している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。また、電源を切った後の、ファンの回転速度は調節することができます。☞ 78 ページ

ケースなどにしまう前に

本機は [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押して電源を切ったら、すぐに電源コードをプロジェクターから抜くことができますが、ランプの冷却は継続されています。プロジェクターがじゅうぶんに冷えてから、ケースなどに入れるようにしてください。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。

☞ 71 ページ

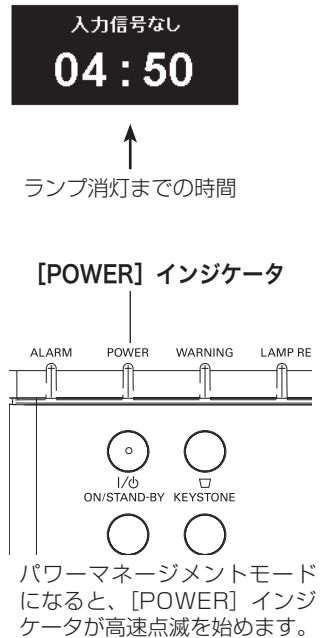
パワーマネージメントの動作について

設定が「待機」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが消え、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータが高速点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

設定が「シャットダウン」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが消え、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



基本
操作本

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合は 24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

入力信号を選択する

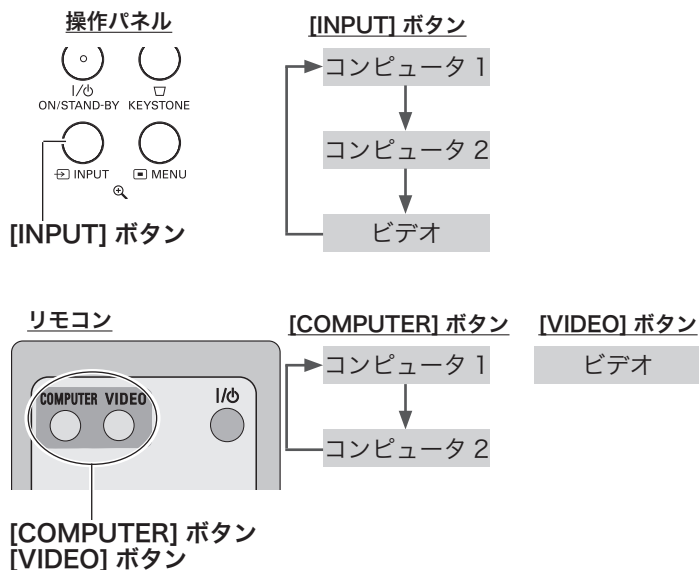
[INPUT]、[COMPUTER]、[VIDEO] ボタン

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。

- 操作パネルの [INPUT] ボタンを押してコンピュータまたはビデオを選択します。
- リモコンの [COMPUTER] ボタンで「COMPUTER 1/2」に切り換わり、[VIDEO] ボタンは「ビデオ」を選択することができます。

☞ 46～48 ページ

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。☞ 48 ページ



※ セッティングメニューの中の「端子」の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」は表示されません。

投映画面の調整やその他の操作

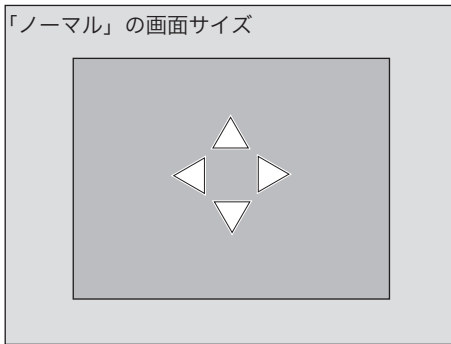
投映画面を調整する

画面の大きさを決める

[ZOOM +/-] ボタン

操作パネルの [ズーム+/-] ボタンを押して、画面の大きさを調整します。

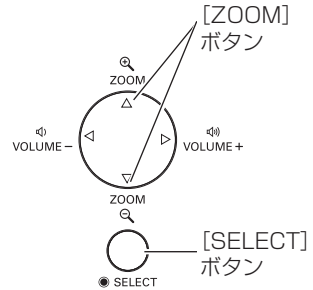
拡大率：1倍（ズーム0）まで
縮小率：5/6倍まで



- ※ 約4秒間表示されます。
- ※ 移動する方向の矢印は赤く表示され、「ノーマル」の位置まで移動したとき、矢印の表示が消えます。（始めの表示は白色です。）
- ※ 画面サイズが「ノーマル（C 59、61 ページ）」よりも小さいとき、「ズーム+/-」の表示がでている間に [SELECT] ボタンを押すと左図のような「△」が表示され、画面の位置を動かすことができます。[ポイント] ボタンの上下左右で移動することができます。

フォーカス

[FOCUS] レバーを回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

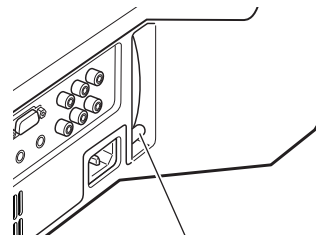


- ※ メニューバーが表示されているときは [ZOOM +/-] ボタンとして機能しません。

ズーム +

ズーム -

- ※ 約4秒間表示されます。



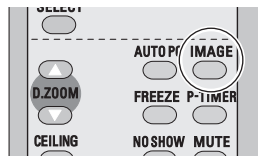
フォーカスレバー

イメージモードを選択する

[IMAGE] ボタン

[IMAGE] ボタンを押すごとに、イメージモードが「ダイナミック」「標準」「リアル/シネマ*」「黒(緑)板」「カラーボード」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

*「リアル」はコンピュータ入力時に、「シネマ」はビデオ入力時に表示されます。



- ※ 表示は約 4 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示・オフ」(☞ 64 ページ) のときは表示されません。

ランプの明るさを選択する

[LAMP CONTROL] ボタン

ランプの明るさを「ノーマルモード」、「オートモード」、「エコモード」の3段階で切り換え・選択することができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

- 💡 明るい表示・・・ノーマルモード
- 💡**A** 明るい表示に「A」・・・オートモード
- 💡 上部がグレーの表示・・・エコモード


- ※ [ポイント] ボタン右で 💡 → 💡**A** → 💡 の順に表示が切り換わります。
- ※ 「オートモード」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。
- ※ 「セッティング」メニュー内の「ランプコントロール」からも調整することができます。(☞ 72 ページ)

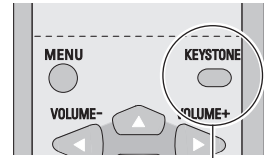
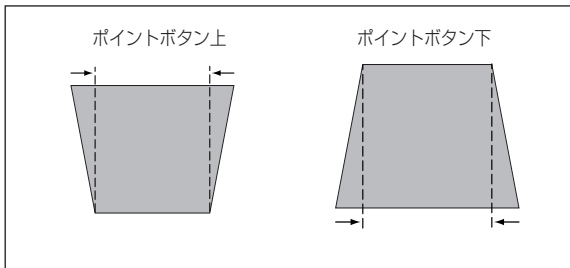
キーストーン調整（台形歪みの補正）

[KEYSTONE] ボタン

リモコンのまたは操作パネルの [KEYSTONE] ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。


[ポイント] ボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
[ポイント] ボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。

- ※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度 [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※ 「セッティング」メニュー内の「キーストーン」からも調整することができます。（ 63 ページ）



[KEYSTONE] ボタン



- ※ 表示は約 4 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示・オフ」( 64 ページ) のときは表示されません。
- ※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ 入力信号によっては補正量が変わることがあります。

※ キーストーンの設定値によっては、一瞬画像が乱れることがあります。

画面を一時的に静止させる

[FREEZE] ボタン

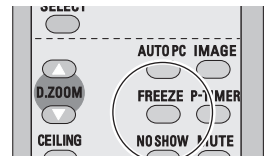
リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生機器に関係なく投影画面だけが静止します。

- ※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。



こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。



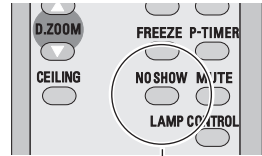
[FREEZE] ボタン

画面を一時的に消す

[NO SHOW] ボタン

リモコンの [NO SHOW] ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。



[NO SHOW] ボタン



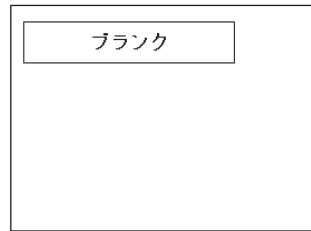
こんなときに便利です

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。



ロゴ画面を表示させることができます

[NO SHOW] ボタンを2回押します。「セッティング」メニューの「ロゴ」内の「キャプチャー」(P.65 ページ) を使い、「ロゴ選択:ユーザー」(P.64 ページ) を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることができます。



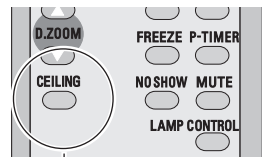
※ 表示は約 4 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示・オフ」(P.64 ページ) のときは表示されません。

画面表示を「天吊り」にする

[CEILING] ボタン

リモコンの [CEILING] ボタンを押すと、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

- ※ もう一度 [CEILING] ボタンを押すと解除することができます。
- ※ 「セッティング」メニュー内の「天吊り」からも調整することができます。(P.69 ページ)



[CEILING] ボタン

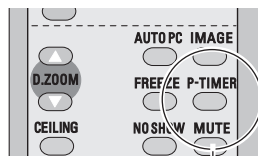
※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。(P.109 ページ)

プレゼン時に経過時間を表示する

[P-TIMER] ボタン

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。

もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すと解除されます。



[P-TIMER] ボタン

基本
操作本 こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。



※ 00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する



音量

リモコンまたは操作パネルの [VOLUME] ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

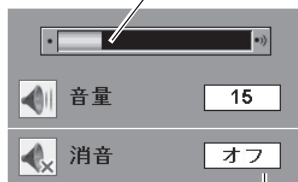


消音

リモコンの [MUTE] ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度 [MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME] ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ [MUTE] ボタンは操作パネルにはありません。

音量の目安になります。



[MUTE] ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り換わります。

※ 表示は約 4 秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示・オフ」(C 64 ページ) のときは表示されません。

サウンドメニューで音を調節する

1 リモコンまたはコントロールパネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタンの上下で、お好みの項目にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。



音量

[ポイント] ボタン左で音量が小さくなり、[ポイント] ボタン右で音量が大きくなります。音量のバーを目安に調節してください。



消音

[ポイント] ボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※ 「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

サウンドメニュー



メニューを終了します。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

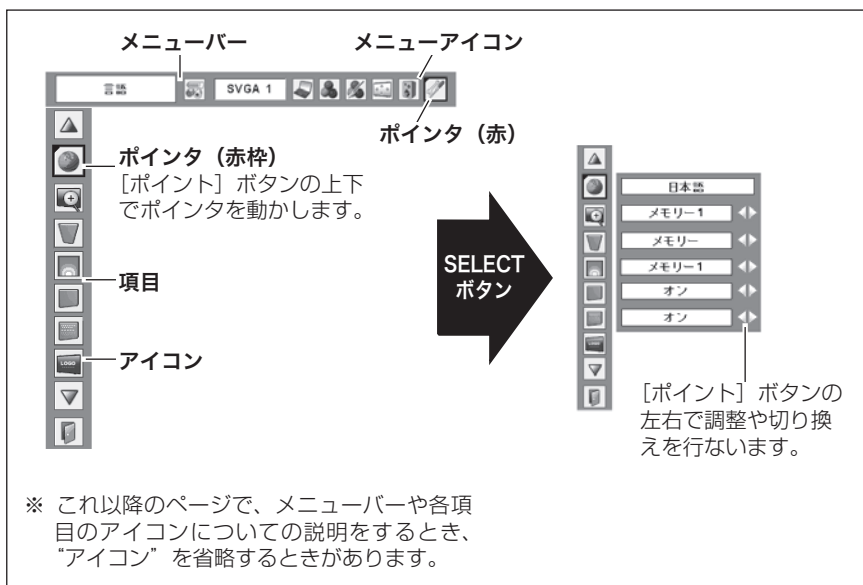
- 1 [MENU] ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(C 45 ページ) メニューバーには選択できるメニューがアイコン (操作をイメージした図) の形で一覧表示されます。アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

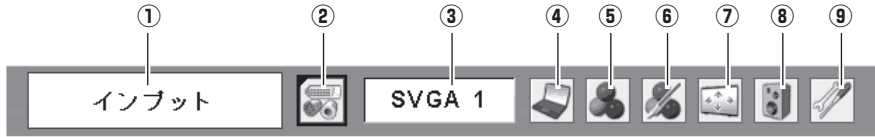
- 2 赤い枠のポインタを、[ポイント] ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。
- 4 [SELECT] ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- 5 [ポイント] ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。
それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。



メニューバー



①	ガイドボックス オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。	
②	インプットメニュー 46～48 ページ 「コンピュータ 1/2/ビデオ」を切り換えます。	
③	システムボックス 49、50 ページ コンピュータ画面のときは、選択されたコンピュータシステムを表示します。 ビデオ画面のときは、選択されたカラーシステムまたは走査方式を表示します。	
④	PC 調整メニュー* 51～54 ページ お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	自動 PC 調整、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
⑤	イメージ選択メニュー 55 ページ 画面のイメージモードを選択します。	ダイナミック、標準、リアル*、シネマ**、黒（緑）板、カラーボード、イメージ 1～4
⑥	イメージ調整メニュー 56～58 ページ 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ**、色合い**、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション**、プログレッシブ**、リセット、メモリー
⑦	スクリーンメニュー 59～61 ページ 画面の大きさのモード設定をします。	ノーマル、リアル*、ワイド、フル*、デジタルズーム+/-*
⑧	サウンドメニュー 42 ページ 音量の調節や消音の切り換えをします。	音量、消音
⑨	セッティングメニュー 62～81 ページ プロジェクターの各種設定を行なうメニューです。	言語、ズーム、キーストーン、均一性調整、ブルーバック、オンスクリーン表示、ロゴ、天吊り、リア投映、端子、自動入力切替、パワーマネージメント、オンスタート、ランプコントロール、リモコンコード、セキュリティ、ファン、ランプカウンター、フィルターカウンター、初期設定

* コンピュータ画面のときのみ表示、または選択可
** ビデオ画面のときのみ表示、または選択可

入力の選択・設定・調整

入力を切り換える

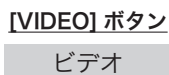
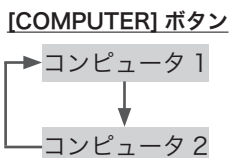
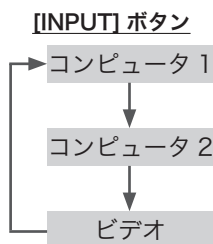
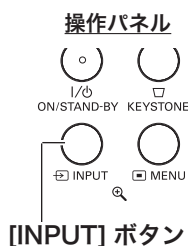
プロジェクターに接続されたコンピュータ、ビデオなどの機器からの入力信号を選択します。

[INPUT]、[COMPUTER]、[VIDEO] ボタン

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。

- 操作パネルの [INPUT] ボタンを押してコンピュータまたはビデオを選択します。
- リモコンの [COMPUTER] ボタンで「COMPUTER 1/2」に切り換わり、[VIDEO] ボタンは「ビデオ」を選択することができます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。 (P 47、48 ページ)



※ セッティングメニューの中の「端子」の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」は表示されません。

[INPUT] メニューで入力を切り換える

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを映したい入力に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。信号選択メニューが現れます。
- 3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを映したい信号に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

インプット メニュー

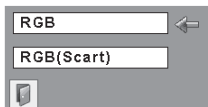


ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。

コンピュータ1

RGB

[COMPUTER IN 1] 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。



RGB (Scart)

[COMPUTER IN 1] 端子に、映像機器の SCART 映像出力*が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

* SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るとは、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [COMPUTER IN 1] を専用のケーブルで接続します。[COMPUTER IN 1] で再生される RGB SCART 信号は、480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピュータ2

[COMPUTER IN 2/ MONITOR OUT] 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。(信号選択メニューは表示されません)



※ セッティングメニューの中の端子の設定で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピュータ 2」は表示されません。

ビデオ

Auto

接続されている端子をプロジェクターが自動選択します。**

Video

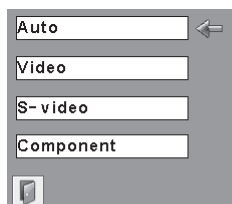
[VIDEO IN] 端子に、ビデオ信号が接続されているとき選択します。

S-video

[S-VIDEO IN] 端子に、S 映像信号が接続されているときに選択します。

Component

[COMPONENT IN] 端子の Y,Cb/Pb,Cr/Pr に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。



** 複数のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入（信号の有無ではない）を検知して、

1) Component → 2) S-Video → 3) Video

の接続順位で入力端子を自動選択します。

接続されている入力端子が選択されないときは、信号選択メニューでポインタを合わせ、[SELECT] ボタンで選択してください。



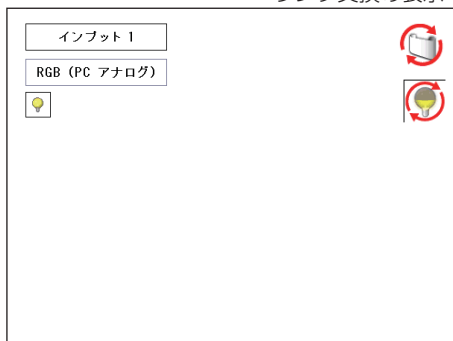
エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

インプットを切り換えたあとに、プロジェクターの状態により、「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。

78 ~ 80 ページ

※ 表示は約 4 秒間出ます。

フィルター警告と
ランプ交換の表示



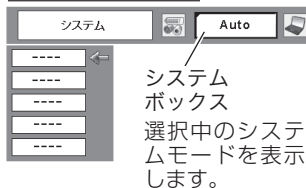
コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。☞ 100～102ページ
 選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

システムメニュー



※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。

☞ 52～54ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。

☞ 17、26ページ

モード 1

マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

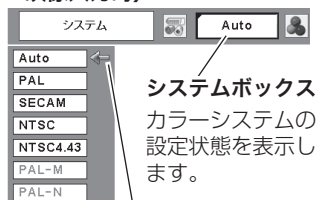
- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [SELECT] ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。☞ 52～54ページ

ビデオシステムの選択

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポイントを「システム」メニューに合わせます。
- 2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、[SELECT] ボタンで選んでください。

システム メニュー (コンポジット映像または S 映像入力時)



ポインタを入力信号に合ったカラーシステムに合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

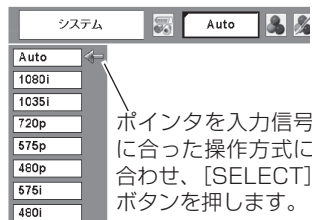
コンポーネント入力選択時

Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の操作方式

正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。



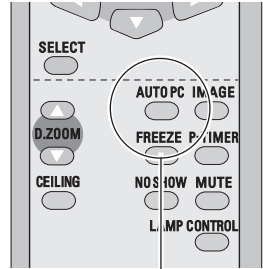
コンピュータシステムの調整

自動 PC 調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

リモコンの [AUTO PC] ボタンを押します。



[AUTO PC] ボタン

設定
入力
力
の
調
選
整
択

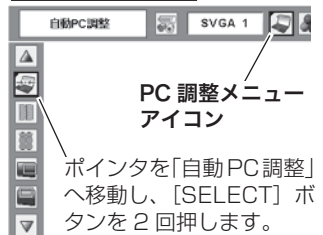
メニューから調整する



自動 PC 調整

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、PC 調整画面が出ます。[SELECT] ボタンをもう一度押して、自動調整を実行させます。

PC 調整メニュー



※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。

☞ 52～54 ページ

※ 自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「マニュアル PC 調整の手順 3」をご覧ください。

※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。

※ 入力信号がデジタルの時は「PC 調整」メニューは選択できません。

※ ご使用のコンピュータまたは、信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

マニュアル PC 調整（「カスタムモード」を登録する）


本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は5個まで登録することができます。

※ 入力信号がデジタルのときは「PC調整」メニューは選択できません。


手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「PC調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行います。

3 リセット

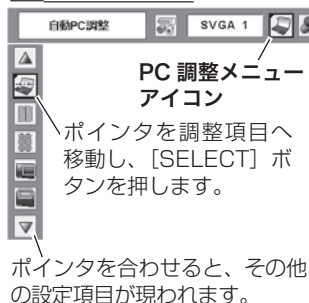
- ① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。
- ③ ポインタが「PC調整」メニューの  に移動します。

データ消去

- ① ポインタを「データ消去」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「PC調整データ消去」メニューが現われます。
- ② 消去したいモード（「モード 1 から 5」のいずれか）にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。（ポインタは  を指しています。）さらに、[SELECT] ボタンを押すと「データ消去」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

PC調整メニュー



PC 調整データ消去メニュー

カスタムモード *

データ消去
モード 1
データあり

どのモードを消去しますか？

モード 1	データあり	800	142	34	1024	768
モード 2	データなし	800	142	34	1024	768
モード 3	データなし	800	142	34	1024	768
モード 4	データなし	800	142	34	1024	768
モード 5	データなし	800	142	34	1024	768

ポインタを合わせ [SELECT] ボタンを押すと、その他の設定項目が現われます。

データ消去アイコン

OK?

はい ←

いいえ

※「調整メニュー」の表示内容既に「カスタムモード」が登録されています。

総ドット数、水平位置、垂直位置、画面領域 H、画面領域 V を表示します。

どのモードを消去しますか？

モード 1	データあり	800	142	34	1024	768
モード 2	データなし	800	142	34	1024	768
モード 3	データなし	800	142	34	1024	768
モード 4	データなし	800	142	34	1024	768
モード 5	データなし	800	142	34	1024	768

何も登録されていません。 このメニューをとじます。

* 「カスタムモード」の登録状況（データあり / データなし）を表示します。



メモリー

- ① ポインタを「メモリー」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「PC 調整データ登録」メニューが現われます。
- ② 登録したいモード（「モード 1 から 5」のいずれか）にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC 調整データ登録」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、[SELECT] ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「PC 調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

PC 調整データ登録メニュー

どこに記憶させますか？

モード 1	データあり	800	142	34	1024	768
モード 2	データなし	800	142	34	1024	768
モード 3	データなし	800	142	34	1024	768
モード 4	データなし	800	142	34	1024	768
モード 5	データなし	800	142	34	1024	768

OK?

はい ←

いいえ



戻る

メニューを終了します。

項目



トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0 から 31 まで）

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。



総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。



水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。



垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。



コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



クランプ

クランプ位置を調整します。

投映している映像に暗い線が出ているときに使います。



画面領域 H

水平解像度を調整します。

[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。



画面領域 V

垂直解像度を調整します。

[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H/V」の調整はできません。

コンピュータ情報



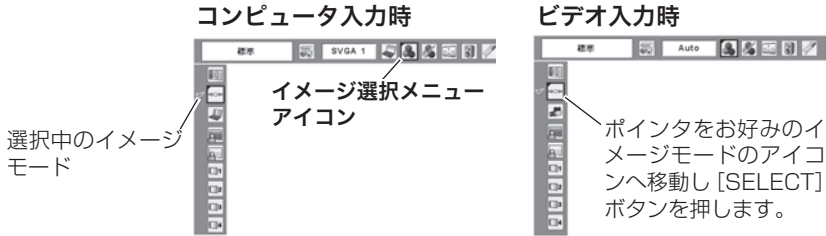
[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。

ポイントを合わせ[SELECT] ボタンを押すと、前の表示画面に戻ります。

イメージの調整

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポイントを「イメージ選択」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、ポイントをお好みの「イメージモード」に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。



ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。



標準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。



リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

※ コンピュータ入力時のみ選択できます。



シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。



黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。



カラーボード

スクリーンの準備ができないときなど、色のついた壁などに投映するとき、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

[SELECT] ボタンを押すと色選択画面が表示されます。投映面の色に近い項目を選択してください。



イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。


※ コンピュータ、ビデオそれぞれで記憶できます。

マニュアルでイメージ調整を行なう

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポイントを「イメージ調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポイントを調整したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。


3 リセット

- ① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。
- ③ ポインタが「イメージ調整」メニューの  に移動します。



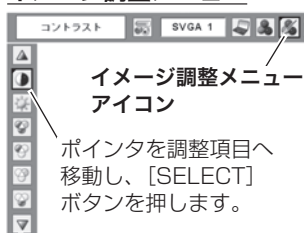
メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

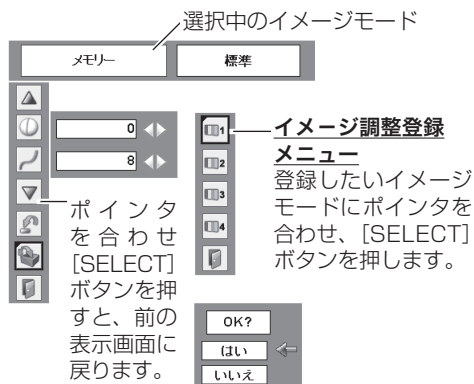
- ① ポインタを「メモリー」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。
- ② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。（ポインタは  を指しています。）さらに、[SELECT] ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

イメージ調整メニュー



ポインタを合わせると、その他の設定項目が現われます。





戻る

メニューを終了します。

項目

[ポイント] ボタンの左 (◀) 右 (▶) で調整します。



コントラスト

◀ うすくなる ▶ こくなる (0 ~ 63)



明るさ

◀ 暗くなる ▶ 明るくなる (0 ~ 63)



色の濃さ

◀ うすくなる ▶ こくなる (0 ~ 63)

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。



色合い

◀ 紫がかかる ▶ 緑がかかる (0 ~ 63)

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。



色温度

◀ 超低へ ▶ 高へ (超低一低一中一高)

※ 超低 (赤みがかかる) ~ 高 (青みがかかる)

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

※ 「ホワイトバランス」(赤 / 緑 / 青のどれか 1 つでも) の調整をすると「調整中」と表示されます。



ホワイトバランス(赤 / 緑 / 青)

◀ うすくなる ▶ こくなる (各色 0 ~ 63)



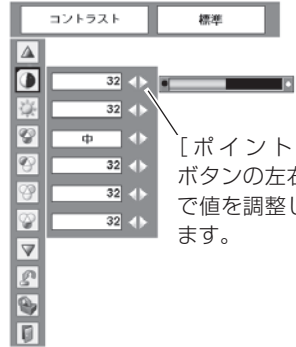
画質

◀ やわらかい ▶ くっきり (0 ~ 31)



ガンマ補正

[ポイント] ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。
(0 ~ 15)



[ポイント]
ボタンの左右
で値を調整し
ます。



ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見ると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

オン・・・ノイズの多い映像を見るときは「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ設定できます。

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは「ノイズリダクション」は選択できません。



プログレッシブ

オフ・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

オン・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。

フィルム・・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ設定できます。

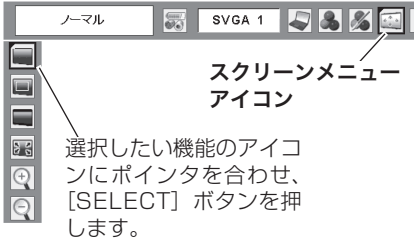
※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは「プログレッシブ」は選択できません。

画面サイズの調整

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポイントを「スクリーン」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で選択したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

スクリーンメニュー (PC)



スクリーンメニュー (ビデオ)



設定
入力
力
の
調
選
整
択

画面サイズの選択 (コンピュータ入力時)



ノーマル

画像を有効投映画面^{注)}の高さに合わせて投映します。

注) 1024 × 768 ドット

ノーマル

※ 表示は約 4 秒間出ます。



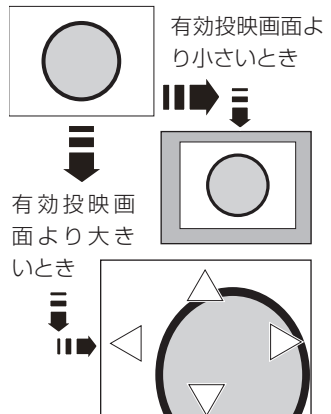
リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。

- ① 画像サイズが有効投映画面^{注)} よりも小さいときは、画面の中央に投映し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。
- ② 画像サイズが有効投映画面^{注)} と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後オリジナルサイズで投映されます。
- ③ 画像サイズが有効投映画面^{注)} よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム +・-」は選択することができません。

リアル



- ※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。



ワイド

画像を有効投映画面^{注)}の幅に合わせ、横 16 : 縦 9 のワイド画面で投映します。



フル

アスペクト比、横 4 : 縦 3 のフルスクリーンサイズで投映します。

※ 「フル」を選択しているとき、「デジタルズーム +」は選択することができません。



デジタルズーム +

「デジタルズーム +」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom +」表示が現われます。

[SELECT] ボタンを押すごとに画像が拡大します。

[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面^{注)}よりも大きいときのみはたります。

リモコンの [D.ZOOM ▲] ボタンを押しても画像の拡大ができます。



デジタルズーム -

「デジタルズーム +」で拡大した画像を縮小する（元の大きさに戻す）ときに使用します。

「デジタルズーム -」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom -」表示が現われます。

[SELECT] ボタンを押すごとに画像が縮小*します。

リモコンの [D.ZOOM ▼] ボタンを押しても画像の縮小*ができます。

*:元の大きさに戻す

 **メモ**

- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、[D.ZOOM、SELECT、ポイント] 以外のボタンを押します。
- ※ 「ノーマル」モードへもどるときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせ [SELECT] ボタンを押します。
- ※ 本機は UXGA (1600 × 1200 ドット) を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が UXGA (1600 × 1200 ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
- ※ 有効投映画面^{注)}以外の画像データは、初期画面で有効投映画面^{注)}に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
- ※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム -」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
- ※ システムモード (P.49 ページ) で [VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA] が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム -」が正しくはたらかないときがあります。

画面サイズの選択 (ビデオ / コンポーネント入力時)



ノーマル

通常の映像のアスペクト比、横 4 : 縦 3 で投映します。



ワイド

DVD プレーヤ等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比横 16 : 縦 9 のワイド画面で投映します。

注) 1024 × 768 ドット

各種機能の設定

「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポイントを「セッティング」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポイントを設定する項目に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。「英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語」の16か国語の中から選べます。



ズーム

操作パネルの[ZOOM +] または [ZOOM -] ボタンで調整した状態を記憶させる機能です。

リセット・・・電源切ると調整した状態がリセットされます。

メモリー1・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

メモリー2・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶しています。

セッティングメニューアイコン

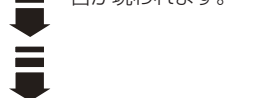


設定する項目にポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

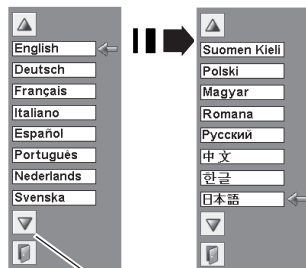
ポイントを合わせると、その他の設定項目が現われます。



ポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、その他の設定項目が現われます。



言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



ポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、その他の言語が現われます。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。[ポイント] ボタンで「リセット」または「メモリー」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われます。[ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。「メモリー」、「リセット」は以下のはたらきをします。

メモリー・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

リセット・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

- ※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、[KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。



均一性調整

投映画面の明るさのバランスを調整する機能です。[ポイント] ボタンで「リセット」または「メモリー 1/2」を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「均一調整」と調整バーが表示されます。[ポイント] ボタンの上下で調整します。「リセット」、「メモリー 1/2」は以下のはたらきをします。

リセット・・・電源切ると調整した状態がリセットされます。

メモリー 1・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

メモリー 2・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶しています。

- ※ 条件によっては明るさが均一にできない場合があります。また、明るさバランスの補正の伴い、色やコントラストのバランスも変動します。



[▲] ボタン：調整を強くする

[▼] ボタン：調整を戻す

(0～7まで)

※ 表示は約 4 秒間出ます。



ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。



オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン・・・すべての画面表示を出します。

ある程度投映画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ・・・

ランプ点灯後 30 秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投映します。
投映画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- ・メニューバー表示 (F 45 ページ)
- ・電源を切るときの、「もう 1 度押しと電源が切れます」の表示 (F 34 ページ)
- ・P-TIMER 表示 (F 41 ページ)
- ・自動 PC 調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- ・パワーマネージメント時のタイマー表示
- ・画面サイズが大きいとき表示される「△」の矢印 (F 59 ページ)
- ・「D.zoom +」の矢印表示 (F 67 ページ)



ロゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

[SELECT] ボタンを押すと右下図が現れます。*



ロゴ選択

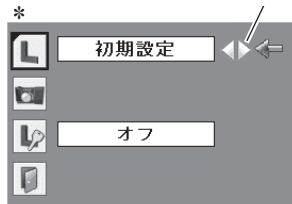
電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ・・・ロゴ表示を画面に出しません。

[ポイント] ボタンの左右で設定します。





キャプチャー

投射している画面を静止画像として取り込むことができます。

取り込んだ画像はスタートアップロゴ（「ロゴ選択」）や、背景画面（「バックグラウンド」）に設定することができます。

- 1 「ポイント」 ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい・・・画面の取り込みを始めます。

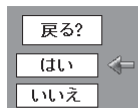
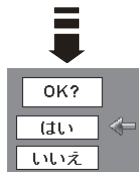
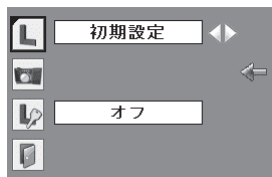
いいえ・・・キャプチャー機能を取り消します。

- 2 「はい」を選択すると、取り込みを始めます。

取り込みの進行を示すバーが現れます。

取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。

このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」*を選択し [SELECT] ボタンを押します。

!! **ご注意 ***

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

!! **「ロゴ」について**

- ※ 「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。
- ※ 「ユーザー」へ保存できるのは1画面のみです。
- ※ 「キャプチャー」を一度も行なっていないときや、取り込みを中止したときは、「ユーザー」は選択できません。
- ※ 適切な画面を取り込むために、「イメージモード」は「標準」を選択しておいてください。
- ※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
- ※ この機能が使えるのは以下の信号のときです。
コンピュータ・・・XGA 以下（ただし、「画面領域 H」を 1025 以上、「画面領域 V」を 769 以上に設定すると不可）
ビデオ・・・コンポジット、S ビデオ、480p、575p、480i、575i



ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を暗証番号を持つ管理者以外でできません。設定により以下のモードが選択できます。

オン・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

オフ・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

手順

1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。

※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。

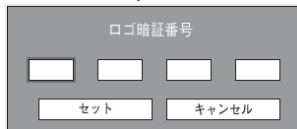
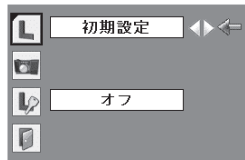
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。

3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。*

「オン・オフ」は[ポイント]ボタンの左右で切り換え、選択します。

暗証番号の変更は 68 ページを参照ください。

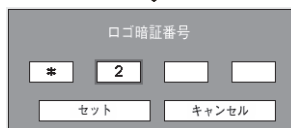
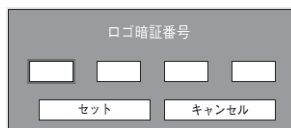
4 終了するときは、[ポイント] ボタン下でポインタを  に移動し、[SELECT] ボタンを押します。



暗証番号の入力方法

- 1 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを[ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。
- 3 [SELECT] ボタンを押して決定します。
- 4 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞前ページ「手順3」

- ※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
- ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック」の選択画面に移動します。



設定画面へ

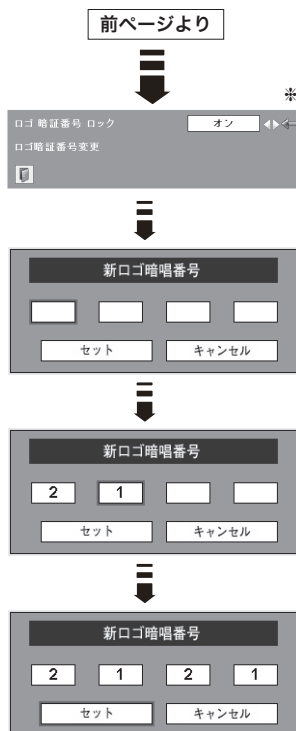
次ページへ



ロゴ暗証番号ロック (つづき)

暗証番号を変更する

- 1 [ポイント] ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します
- 2 [ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。
※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見えています。
- 3 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。[SELECT] ボタンを押して決定します。
- 4 さらに、「OK ?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。
- 5 「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。



メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは [ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。「ロゴ暗証番号変更」メニュー (*) の画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し [ポイント] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
 - 「ロゴ暗証番号」と入力した数字 (見た目は「*」) が赤く表示された。
 - 「ロゴ暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。



天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

- ※ 吊リモコンの [CEILING] ボタンを押しても「天吊り」に切り換えることができます。 (P 40 ページ)
- ※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。 (P 109 ページ)



リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。



端子

[COMPUTER IN 2/MONITOR OUT] 端子の切り換えを行ないます。入力端子として端子を使用するためには、「コンピュータ 2」を、「コンピュータ 1」の出力端子として使用するためには、「モニター出力」を選んでください。

- ※ 工場出荷時は「コンピュータ 2」に設定されています。



自動入力切換

信号の有無を検出し、入力のある信号で自動的に止まる機能です。

オフ・・・「自動入力切換」を解除します。

オン1・・・操作パネルの [INPUT] ボタン、リモコンの [COMPUTER] ボタン、[VIDEO] ボタンを押したときに作動します。

オン2・・・以下のときに作動します。

- ① 操作パネルの [ON/STAND-BY] ボタンまたはリモコンの [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンで電源を入れたとき。
- ② 操作パネルの [INPUT] ボタン、リモコンの [COMPUTER] ボタン、[VIDEO] ボタンを押したとき。
- ③ プロジェクターが動作中に選択している信号が入力されなくなったとき。(オンスクリーンメニューが表示されているときは作動しません。)

- ※ 「自動入力切換」が作動している途中で操作パネルの [INPUT] ボタン、リモコンの [COMPUTER] ボタン、[VIDEO] ボタンを押すと、検出動作を停止します。
- ※ 「FREEZE」、「NO SHOW」の実行中は、「自動入力切換」は作動しません。それぞれを解除すると検出動作を開始します。
- ※ 無信号時にメニューが表示されていると「自動入力切換」は作動しません。またこのときメニューを消しても検出動作を開始しません。

コンピュータ 1 (アナログ)



入力が切り換わるたびに表示されます。



パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

オフ・・・パワーマネージメント機能を解除します。

待機・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

シャットダウン・・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。



[ポイント] ボタン右で「オフ」→「待機」→「シャットダウン」の順に表示が切り換わります。

[SELECT] ボタンを押して設定画面に入ります。



タイマーの設定

- [ポイント] ボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30分の範囲で設定できます。
- パワーマネージメント動作詳細については 40 ページを参照ください。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。

※ 「FREEZE (C/F 39 ページ)」または、「NO SHOW (C/F 40 ページ)」機能がはたらいているときは、パワーマネージメントは動作しません。

※ パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER (C/F 41 ページ)」はリセットされます。



ランプ消灯までの時間



オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンまたは操作パネルの [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。






電源オン・オフは正しい操作で行なってください。




ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで、リモコンまたは操作パネルの [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押しても電源は入りません。



ランプコントロール

ランプの明るさを「ノーマルモード」、「オートモード」、「エコモード」の3段階で切り換え・選択することができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

-  明るい表示・・・ノーマルモード
-  明るい表示に「A」・・・オートモード
-  上部がグレーの表示・・・エコモード

- ※ [ポイント] ボタン右で  →  →  の順に表示が切り換わります。
- ※ 「オートモード」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。
- ※ リモコンの [LAMP CONTROL] ボタンで、直接ランプモードを切り換えることができます。☞ 38 ページ



リモコンコード

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作することができます。工場出荷時は「コード 1」に設定されており、2台目のプロジェクター用（拡張用）として「コード 2」に設定することができます。本機を2台で使用の場合、リモコンコードを別々に設定しておく、誤動作防止になります。

- コード 1** 1台目のプロジェクター用に使用します。
- コード 2** 2台目のプロジェクター用（拡張用）に使用します。

- ※ [ポイント] ボタンの左右で「コード 1」と「コード 2」を切り換えます。
- ※ 本機（プロジェクター）を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。☞ 22 ページ



セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポイントを「セキュリティ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、設定画面が現れます。
※ 設定の詳細は、各項目を参照してください。



キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

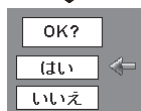
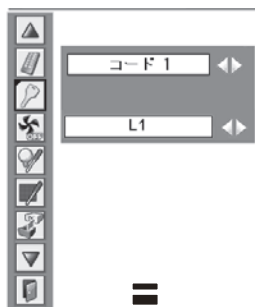
- …… 操作パネルからの操作をロックします。
- …… リモコンの操作をロックします。
- …… キーロックは「オフ」の状態です。

- ※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
- ※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

手順

上記「1～2」に続いて、

- 3 ポインタをいずれかに合わせ、[SELECT] ボタンを押すと「OK？」の表示が現れます。
- 4 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、登録が完了し、設定画面へ戻ります。
※ 「いいえ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、選択画面に戻ります。設定する項目を選び直してください。



手順は次ページへ



暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。

設定により以下のモードが選択できます。

オフ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン1・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン2・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。リモコンまたは操作パネルの [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンで電源の入り・切りをするだけで、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。

手順

前ページ「1～2」に続いて、

3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと暗証番号を入力する画面が現れます。

4 暗証番号を入力します。

※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。

5 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オン1・オン2・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。

「オン1・オン2・オフ」は [ポイント] ボタンの左右で切り換え、選択します。

暗証番号の変更は 76 ページを参照ください。

6 終了するときには、[ポイント] ボタン下でポインタを  に移動し、[SELECT] ボタンを押します。



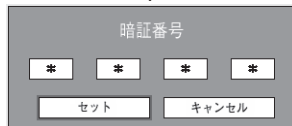
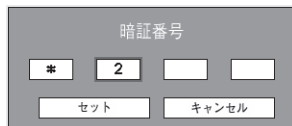
設定画面へ

暗証番号の入力方法

- 1 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを[ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。
- 3 [SELECT] ボタンを押して決定します。
- 4 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞前ページ「手順5」

- ※ 工場出荷時の暗証番号は、「1234」です。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
- ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて[SELECT] ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

暗証番号ロック

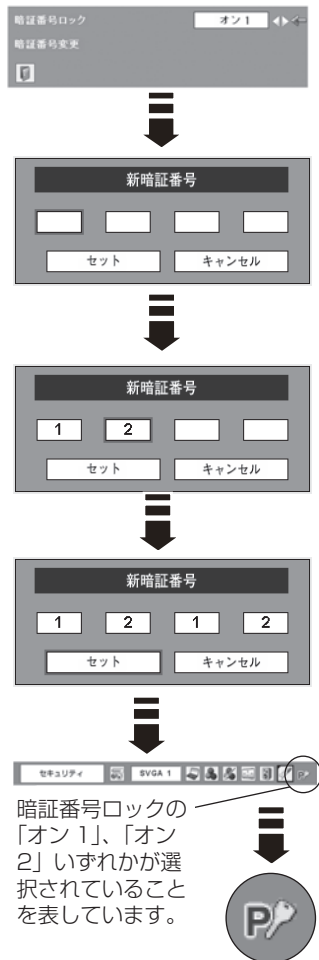


設定画面へ

次ページへ

暗証番号を変更する

- 1 [ポイント] ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します
- 2 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見えています。
- 3 4けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。[SELECT] ボタンを押して決定します。
- 4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。
- 5 「暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。



メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは [ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。「暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し [ポイント] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
 - 「暗証番号」と入力した数字 (見た目は「*」) が赤く表示された。
 - 「暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。



アラーム

盗難防止アラームの現在の設定状況を表示します。
アラームの「オン・オフ」の設定はプロジェクター本体のボタンで行ないます。(P. 17、82 ページ)

オン・・・アラームが設定されています。
(警戒モード)

オフ・・・アラームが設定されていません。
(非警戒モード)

このとき下記の設定状況を変えることができます。

[SELECT] ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

項目

・充電：電池の充電方法の切り換えと、充電状況の表示をします。

オフ・・・充電しません

オート・・・充電が必要なときに、プロジェクターが自動的に感知して充電を始め、満充電になると終了します。

充電中・・・充電中であることを表示します。

※ 以下のときには「充電中」の文字が薄く表示されます。

・「充電」の設定で「オフ」が選択されているとき。

・満充電の時

・充電回路の故障で、正常な充電ができないとき。

・アラーム音量：アラームの音量を 3 段階で切り換えることができます。

◀小へ ▶大へ (小一中一大)

・感度：振動に対する感度を 3 段階で切り換えることができます。

◀低へ ▶高へ (低：鈍感一中一高：敏感)

・アラーム時間：アラーム音の長さを 3 段階で切り換えることができます。

10 秒：約 10 秒間鳴り続けます。

60 秒：約 60 秒間鳴り続けます。

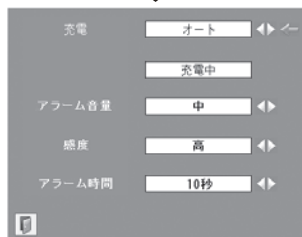
電池寿命終了まで：電池の残がなくなるまで鳴り続けます。

※ 以下のようなときは、この機能は選択できません。

・盗難防止アラームが「警戒モード」に設定されているとき。

・電池容量が少なくなり、約 20 秒ごとに「ピッ」と鳴り、インジケータが赤く点滅しているとき。

アラーム



※ この画面がでているときは、アラームボタン (本体側面) でのアラーム設定はできません。



ファン

電源を切ったときの冷却ファンの回転動作を切り換えることができます。

- [L1]・・・自動でファンの回転速度を調整します。「L2」より大きい音がします。電源を切ったとき、冷却のためにファンの回転速度があがり、投映時よりファンの音が気になるときがあります。
- [L2]・・・ファンの回転速度を投映時と同じに調整し、ファンの音が大きくなりないようにします。ただし、「L1」よりファンの停止に時間がかかります。

※ 工場出荷時は「L2」に設定されています。



ランプカウンター

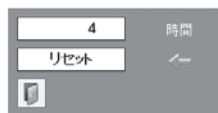
ランプカウンター（実使用时间）をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ（黄）の点灯、および「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。☞ 79、87 ページ



注意 ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポイントを「ランプカウンター」に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 2 ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。[ポイント] ボタンの上下でポイントを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

※ポイントは「2」の画面にある に戻ります。



ランプ交換推奨時間を超えると、積載時間が赤で表示されます。



💡 ランプの交換をお知らせする表示について



ランプ点灯中にランプ交換推奨残時間が 100 時間未満になったとき、画面右上に表示されます。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- 電源を入れたとき (☞ 31 ページ)
- 「インプットモード」を切り換えたとき

ランプ交換



ランプ点灯中にランプ交換推奨残時間が 0 時間になったとき、画面右上に表示されます。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- 電源を入れたとき (☞ 31 ページ)
 - 「インプットモード」を切り換えたとき (アイコンのみ)
- ※ 「オンスクリーン表示・オフ」(☞ 64 ページ) に設定しているとき、または「FREEZE」(☞ 39 ページ)、「NO SHOW」(☞ 40 ページ) が動作中のときは、表示されません。
- ※ ランプカウンターをリセットすると、これらの表示は消えます。



フィルターカウンター

フィルターカウンター（実使用時間）をリセットと、エアフィルターの掃除時期を知らせる時間を設定します。エアフィルターの掃除または交換後は必ずフィルターカウンターをリセットしてください。

- ※ 掃除の方法については 90 ページを参照してください。



注意

フィルターを掃除したとき、または交換したとき以外はリセットしないでください。



タイマーの設定

エアフィルターの掃除をお知らせする表示を表示させるまでの時間を設定します。

オフ / 100 時間 / 200 時間 / 300 時間

[ポイント] ボタンの左右で切り換えます。

- ※ 工場出荷時は「200 時間」に設定されています。

フィルターカウンターリセット


- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 2 エアフィルターの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。[ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 3 「フィルターカウンターリセット？」が現われますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 4 さらに「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。カウンターがリセットされます。



エアフィルターの掃除をお知らせする表示について

フィルター警告



- 投映中にタイマーで設定した時間（工場出荷時は「200 時間」）を越えたときに表示されます。
- 設定時間を越えたあとで、電源を入れたときに表示されます。（ 31 ページ）



- 設定時間を越えたあとで、「インプットモード」を切り換えたときに表示されます。

※ 「オンスクリーン表示・オフ」（ 64 ページ）に設定しているとき、または「FREEZE」（ 39 ページ）、「NO SHOW」（ 40 ページ）が動作中のときは、表示されません。

**初期設定**

下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。

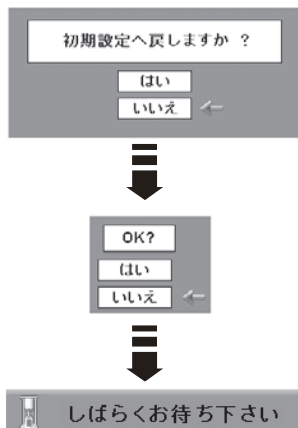
- ランプカウンター（点灯時間）
- フィルターカウンター（使用時間・スクロール残回数）
- ログ暗証番号ロック
- 暗証番号ロック
- ユーザーロゴ

※ この設定は電源コードを抜いても有効です。

**!!
!!
!!** **ご注意**

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

- 1 [ポイント] ボタンの上下で「初期設定」にポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 2 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポイントを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。



その他の機能

振動感知式オーディオアラーム (盗難防止アラーム)

プロジェクターが振動を感知したとき警告音を出して、盗難を防止する機能です。

 **設定する前にプロジェクターの電源を入れてください。**

プロジェクターを初めてお使いになるときは、設定をする前に一度プロジェクターの電源を入れてください。工場出荷後お客様に届いてお使いになるまでの間に、アラーム機能が誤動作しないようにボタン (F/1/2/3) は無効化されています。

盗難防止アラームの設定と解除のしかた

このアラーム機能はプロジェクターに内蔵されている充電電池によって動作します。電池への充電が正しく行なわれていないとアラームは正しく動作しません。ご購入時、電池が放電していてアラームが正しく動作しない場合があります。この場合プロジェクターの電源コードをコンセントに差し込み充電してください。このときプロジェクターの電源を入れる必要はありません。詳しくは次々ページの「電池の充電 (交換) が必要なとき」を参照してください。

※ アラームの設定 (警戒モードの設定・解除) はプロジェクターの電源コードをコンセントに差し込んだ状態、差し込まない状態のどちらでも設定することができます。

「警戒モード」にする

1 [F] ボタンを 3 回押します。

2 ボタンの上にある [アラーム] インジケータ (赤) が約 5 秒間点滅して、「警戒モード」に入ったことを知らせます。

「警戒モード」とは、振動を感知すると警告音を発する状態のことです。

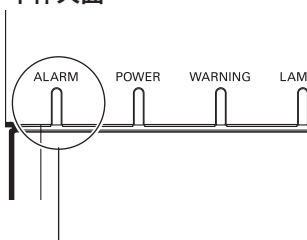
「警戒モード」中に、わずかでも振動を感知すると、「ブツッ」と警告音を発します。

警告音を発した後、

- ① 振動を感知しないとき・・・「警戒モード」に戻る
- ② 振動を感知するとき・・・アラームを鳴らす

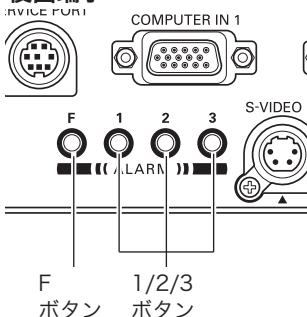
※ 点灯中でも充電電池カバーをはずそうとするとアラームが鳴ります。

本体天面



アラーム インジケータ

後面端子



「警戒モード」を解除する

- 1 [F] ボタンを押します。
- 2 4 けたの暗証番号を入力します。*
正しく入力されたときは「ピッピッ」と音が鳴り、解除されたことを知らせます。

暗証番号を変更する

- 1 [F] ボタンを押します。
 - 2 4 けたの暗証番号を入力します。*
正しく入力されると「ピッピッ」と音が鳴り、[アラーム] インジケータが約 5 秒間点滅します。
 - 3 インジケータが点滅している間に、新しい暗証番号を入力します。
「ピッピッピッピッ」と音が鳴り、[アラーム] インジケータの点滅が消えます。(暗証番号の変更が完了しました。)
- * ① 暗証番号は [F] ボタンを押してから約 10 秒以内に押してください。約 10 秒以内に入力できなかったときは、もう一度 [F] ボタンを押してやり直してください。
- ② 誤った暗証番号を入力すると「ブブッ」と警告音が鳴ります。
- ③ 誤った暗証番号を 3 回入力するとアラームが鳴ります。
工場出荷時の暗証番号は「1111」です。

アラーム音を確かめてみる

- 1 [F] ボタンを 2 秒以上押し続けます。
アラームが鳴り始めます。
- 2 ボタン (どれでも) を押すとアラームは止まります。

※ アラームが鳴り続ける時間は「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の「アラーム」で設定された時間です。☞ 77 ページ



アラームを鳴らしてしまった

- [F] ボタンを押して、暗証番号を入力します。
- 電源プラグを AC コンセントに差し込みます。
ただし、充電カバーを外そうとしてアラームが鳴ったときは、鳴りやみません。
このときは [F] ボタンを押して、暗証番号を入力してください。

電池の充電（交換）が必要なとき

「警戒モード」のときに、アラーム機能が正常にはたらくためにじゅうぶんな充電ができていないと、約20秒ごとに「ピッ」と音が鳴り、アラームインジケータが点滅します。

このときプロジェクターの電源コードをACコンセントに接続すると、電池の充電を始めます。（上記の動作も止まります。）

満充電になってもすぐにアラームが鳴り、インジケータが点滅するときは、新しい電池に交換してください。

※ 電池を交換しても暗証番号などの設定は変わりません。

※ 交換電池は当社専用のものをご使用ください。指定以外の電池を使用しますと事故や火災の原因となります。

ニッケル水素電池 品番：645 089 4800



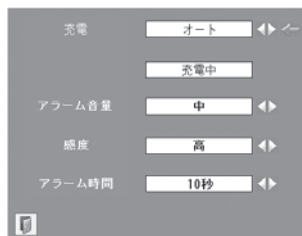
内蔵充電電池の操作について

アラーム機能をお使いの時は、「セッティング」メニューの「アラーム」（「セキュリティ」の項目内）で、充電の状況を「オート」にしてください。

（右図：工場出荷時は「オート」に設定されています。）

設定が「オート」になっていると、プロジェクターが投映中でなくてもプロジェクターの電源コードがACコンセントに接続されていれば、内蔵の充電電池は自動的に充電されます。

アラーム機能をお使いにならないときは、節電のためにも設定は「オフ」にすることをおすすめします。



ご注意

- この機能は盗難に対する保証ではありません。
- 電源プラグがACコンセントに接続されているときは、プロジェクターが振動を検出しても警告音は鳴りません。（「警戒モード」のまま充電電池カバーをはずそうとしたときは、アラームが鳴ります。）
- 操作ボタンを押すときはいつでも操作音が鳴ります。ボタンを押したときに操作音が鳴らなかったときは、プロジェクターが操作を認識できていません。もう一度ボタンを押し直してください。
- 暗証番号を忘れてしまうと、アラームが鳴ったときに止めることができませんのでご注意ください。
- 暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 「非警戒モード」に設定しているときに、「セッティング」メニューの「初期設定」を実行するとアラームの設定内容も、暗証番号も工場出荷時に戻ります。

電池の交換のしかた

交換電池は当社専用のものをご使用ください。指定以外の電池を使用しますと事故や火災の原因となります。

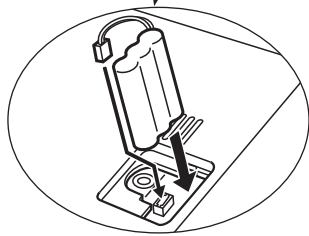
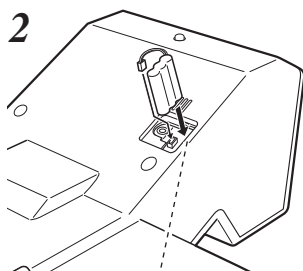
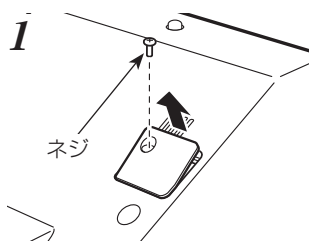
ニッケル水素電池 品番：645 089 4800

※ 電池を交換しても暗証番号などの設定は変わりません。

電池交換の前に確認してください

- 電池を交換するときは、電源プラグを AC コンセントから抜いてから行なってください。
- 充電電池カバーをはずすときは「警戒モード」を解除してください。「警戒モード」のまま充電電池カバーをはずそうとするとアラームが鳴り始めます。

- 1 (+) ドライバーでネジを 1 本取り外し、充電電池カバーを取り外します。
- 2 コネクターをはずして、電池を取り出します。
- 3 新しい電池をプロジェクターの中に入れて、プラグの向きに注意してコネクターを接続します。
※ プラグは向きが違ふときちんと奥まで入りません。
- 4 充電電池カバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



ネジは確実に締めてください

ネジがゆるんでいたり、取り付けなかったりすると、アラームは正しく動作しません。また、本体に付いているネジ以外は絶対に使用しないでください。プロジェクターの破損の原因となります。

アラームの設定にご注意 ください。

電池を交換するときには、「警戒モード」を解除してください。「警戒モード」のまま充電電池カバーを開けると、アラームが鳴り始めます。

プロジェクターをカバンなどに入れて持ち運ぶとき

移動時の振動で誤って設定ボタンが押され「警戒モード」になり、アラームが鳴ってしまうことがあります。この誤作動を防ぐために、カバンなどに入れて持ち運ぶ機会が多くアラーム機能をお使いにならない方は、電池のコネクターをはずしてください。

※ プラグは奥まで確実に差し込んでください。向きが違ふときちんと奥まで入りません。

充電式のニッケル水素電池 (Ni-MH) のご使用・ 保管場所の注意

プロジェクター本体に組み込まれている電池 (Ni-MH) を取り扱う時は以下の点にご注意ください。

- ・ 使用時・充電時温度：0℃～40℃
- ・ 火のそばや、高温になる場所でのご使用や保管、放置はしないでください。
- ・ 高温になると、電池内の安全機構や保護装置が壊れて、異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。安全機構や保護装置が壊れると、電池は使用不可能になります。極端な高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。また、電池の寿命も短くなります。
- ・ 保管時温度：-20℃～30℃
- ・ 湿度：65 ± 20%
- ・ 電池を火の中に投げ込んだり、加熱したりしないでください電池が爆発したり、発火の原因となります。
- ・ 電池を分解したり、改造、また電池に直接半田付けなど加工しないでください。
- ・ 電池に衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。電池の液漏れ、爆発の原因となります。
- ・ 電池を直射日光や、高温の場所に放置しないでください。電池の性能劣化、液漏れの原因となります。
- ・ 電池を海水や、液体にふれさせないでください。腐食や破損の原因となります。
- ・ 電池は幼児の手の届かない所に保管ください。誤って飲み込んだりするおそれがあります。
- ・ 電池の電極を金属物でショートさせないでください、また、電池を金属物と混ぜて保管したり、金属ケースに入れて保管しないでください。
- ・ 電池を充電する時は必ずプロジェクターに取り付けた状態で行ってください。指定以外の機器で充電すると、爆発発火の恐れがあります。
- ・ 本機に使われている電池は本機専用です。他の機器には使用しないでください、事故の原因となります。
- ・ 電池には寿命があります。所定の時間が過ぎても充電完了しない場合は直ちに充電を中止し、新しいものと交換してください。
- ・ 電池の充電は 0～40℃の環境で行なってください。この温度の範囲外で充電を行うと、液漏れや発熱の原因、電池寿命を低下させる場合があります。
- ・ 盗難防止アラームやプロジェクターを長期間使用しないときは、電池をプロジェクターから取りだし、湿気のない -20～+30℃の環境で保存してください。
- ・ 電池の液が肌に付着すると皮膚に障害を起こす可能性があります。液が付着したときは直ちに水で洗い流してください。
- ・ 液が目に入ったときは直ちに目を水洗いし、医師にご相談ください。
- ・ ニッケル水素電池は環境保護と資源の有効利用をはかるためリサイクルにご協力ください。
- ・ 使用済み電池を廃棄するときは地域の廃棄基準に従って廃棄ください。



注意



禁止



Ni-MH

使用後はリサイクルへ

保守とお手入れ

ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータの点灯

[LAMP REPLACE] インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。
[LAMP REPLACE] インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。[LAMP REPLACE] インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、[LAMP REPLACE] インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

「ランプ交換」の表示があらわれたとき

[LAMP REPLACE] インジケータ（黄）だけでなく、以下の表示でランプ交換時期をお知らせします。

※「オンスクリーン表示・オフ」(P.64 ページ) に設定しているときは、表示されません



ランプ交換推奨残時間が 100 時間未満になったあとで、下記の操作をしたときに画面右上に表示されます。

- 電源を入れたとき (P.31 ページ)
- 「インプットモード」を切り換えたとき

ランプ交換



ランプ交換推奨残時間が 0 時間になったあとで、下記の操作をしたときに画面右上に表示されます。

- 電源を入れたとき (P.31 ページ)
- 「インプットモード」を切り換えたとき (アイコンのみ)

ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごとに行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- 交換ランプの品番：POA-LMP121
(サービス部品コード：610 337 9937)
- プロジェクターの品番：LP-XL50

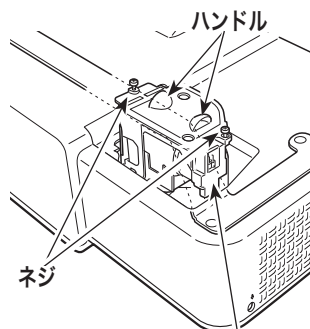
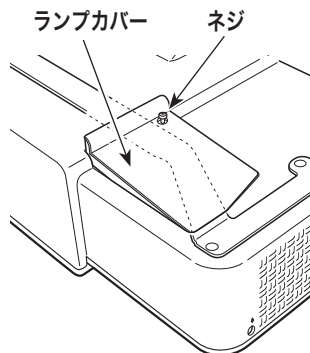


注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45 分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

手順

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず 45 分以上放置してください。
- 2 (+) ドライバーで 1 本ネジをゆるめてランプカバーを外します。
- 3 ランプハウスの 2 本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2 本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ (黄) の点灯、および「ランプ交換」表示が消えます。

ランプカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照ください。☞ 78 ページ

ランプハウス

ガラス面を手で触って汚さないでください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

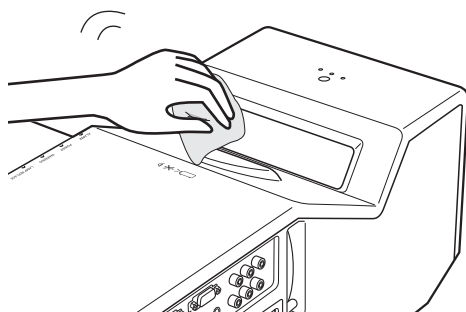
ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● 投映窓のお手入れ ●

投映窓の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。投映窓は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

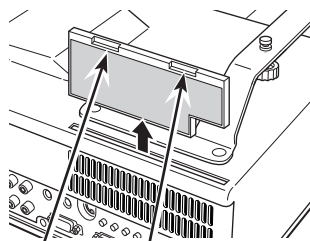
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは、次ページを参照）



エアフィルターはこまめにお掃除してください

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。☞ 12ページ

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターを上を引き上げて外します。
- 3 エアフィルターのホコリをブラシなどで取りのぞきます。
- 4 エアフィルターを取り付けます。



エアフィルター
ツメを上引き上げて
取り外します。

掃除の目安

一般的に約 200 時間ご使用になるたびにエアフィルターを掃除してください。

※ ご使用の環境や、ご使用时间によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

エアフィルターの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。(水洗いはしないでください)

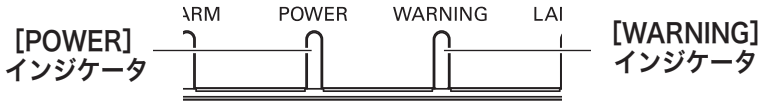
それでも汚れが取れないときや、エアフィルターが古くなったときには新しいものと交換してください。取り替え用エアフィルター（別売）についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用エアフィルターの品番：610 335 4057

お掃除の際にご注意ください

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部温度の上昇について



[WARNING] インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると [WARNING] インジケータ（赤）が低速で点滅しはじめます。

さらに温度が高くなると保護のため自動的に電源が切れ、[WARNING] インジケータが高速の点滅に変わり、[POWER] インジケータ（赤）も点滅をはじめます。温度が下がると [POWER] インジケータが点灯に変わり、リモコンまたは本体の [I/O] (ON/STAND-BY) ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると [WARNING] インジケータの点滅が消えます。[WARNING] インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- エアフィルター付近にホコリがたまっていますか。エアフィルター付近を掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～35℃）
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、[POWER] インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び [WARNING] インジケータが点滅して電源が切れます。

お保
守
入
と
れ

プロジェクターの電源が切れ、[WARNING]インジケータが点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、[WARNING]インジケータが点灯します。このとき、リモコンおよび本体の [I/O] (ON/STAND-BY) ボタンでの「電源入り・切り」はできなくなります。

このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、[WARNING]インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。

また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

		インジケータ			プロジェクターの状態
		POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
正常な動作のとき		●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
		◐	●	*	プロジェクターはスタンバイ状態です。 [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押すと動作します。
		○	●	*	プロジェクターは正常に動作しています。
		◐ [⚡]	●	*	ランプの冷却中です。 [POWER] インジケータが点灯に変わるまで [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押して始動することはできません。
		○ [⚡]	●	*	パワーマネジメントモードになっています。 プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
内部の温度に異常があるとき		◐ [⚡]	◐ [⚡]	*	プロジェクターの内部温度が高くなっています。 [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、[POWER] インジケータが点灯（下記枠内の状態）に変わります。
		◐	◐ [⚡]	*	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。（[WARNING] インジケータは点滅したままです）[ON/STAND-BY] ボタンを押すと、[WARNING] インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。

お保守
お手入れ

インジケータ表示とプロジェクターの状態 (つづき)

	インジケータ			プロジェクターの状態
	POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
異常があるとき 内部電源に	●	⊘	*	プロジェクターの内部に異常が検出されました。 [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押しても電源は入りません。一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
異常があるとき ランプに	*	*	●	ランプの寿命です。 すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(☞ 78 ページ) [LAMP REPLACE] インジケータが点灯するまでの時間は、ご使用状況 (ランプコントロールの状態) によって異なります。

○ …点灯：緑 ◯ …点滅：緑 ⊘ …点灯：赤 ⊘ …点滅：赤
● …点灯：黄 ● …消灯

*[LAMP REPLACE] インジケータについて

[LAMP REPLACE] インジケータが点灯する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯します。

※ [ALARM] インジケータについては「盗難防止アラーム」を参照してください。
☞ 82 ページ

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。[I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押してみてください。 ● [POWER] インジケータが消えているときは、[I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押しても電源が入りません。 ● [WARNING] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており [I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。 ● 「キーロック」がはたらいていませんか。[I/O (ON/STAND-BY)] ボタンを押してみてください。 	29 31 93 91、94 73
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	<ul style="list-style-type: none"> ● 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。 	74～76
オープニング	オープニング画面が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	64
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ロゴ」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	64
	インプットモードが自動的に切り換わる（切り換わらない）	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動入力切換」が「オン2」（または「オン1・オフ」）になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	70
	インプットモードとランプコントロール以外の表示が現れた	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしていません。ランプまたはエアフィルターを確認してください。 	79、80

お保守
お
手
入
れ

故障かなと思ったら (つづき)


	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像 画像・ 画質	画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 	26～28
	画像が映らない (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。「(オンスクリーン表示・オフ)」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく) ● コンピュータモードのときは、コンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 ● 使用温度範囲(5℃～35℃)からはずれていませんか。 ● 「NO SHOW」モードになっていませんか。リモコンの「NO SHOW」ボタンを押してみてください。 ● コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切替はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。 ● コンピュータを再起動してみてください。 	31 49、50
画像・ 画質	画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ(あおり)ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● 投射窓が汚れたり、くもってはいませんか。投射窓のお手入れをしてください。 	37 89
	画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。調整してみてください。 ● 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージ選択」メニューを確認してみてください。 ● 「ランプコントロール」で、「エコモード」が選択されていませんか。「エコモード」は他のモードよりも暗くなります。 ● ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれじょじょに暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示でランプ交換時期をお知らせします。表示が出たら、新しいランプに交換してください。 	57 55 38、72 87、88

故障かなと思ったら (つづき)

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質	画像の色がおかしい・色が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「イメージ調整」を確認してください。 ● リモコンの [IMAGE] ボタン、または「メニュー」から「イメージモード」を確認し、適切な色に調整してください。 	47～50 38、55
	逆さまに映っている	● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「スクリーン」メニューを確認してください。	69
	画像がゆがんだり切れたりする	● 「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	51～54 69～61
設定・操作・調整	自動 PC 調整が働かない	● 入力信号を確認してください。	100～102
	表示されない機能がある	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	64
	電源を切る前の設定が残っていない	● 項目の調整後に「メモリー登録」を実行しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。	53
	「パワーマネージメント」が働かない	● 「FREEZE」、「NO SHOW」の動作中は「パワーマネージメント」は作動しません。	
	「キャプチャー」が働かない	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	26～28
	「コンピュータ 2」が表示されない	● 「端子」が「モニター出力」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	69
	選択できないメニューがある	● ビデオ入力画面とコンピュータ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。	
	自動的に電源が切れる	● 工場出荷時の設定で「パワーマネージメント」機能が設定されています。「セッティング」を確認してください。	71
操作パネルで操作できない	● 「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「セッティング」を確認してください。	73	

故障かなと思ったら (つづき)

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
リモコン	リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。	21
		● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。	
		● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。	22
		● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲内で操作してください。	
		● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	22
		● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。	73
音声	音が出ない	● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	26～28
		● 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	42
		● 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	42
		● [AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていませんか。[AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていると内蔵スピーカから音は出ません。	
		● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	
その他	インジケータが点滅・点灯している	● 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。 ● [ALARM] インジケータはアラームの設定を確認してください。	93、94
	アラームが鳴りやまない	● 電源コードを AC コンセントに接続してください。(ただし、充電カバーをはずそうとしてアラームが鳴ったときは鳴りやみません)	83
	警戒モードにならない	● 設定をするとき、ボタンを押すたびに「ピッ」という音が鳴らないときは、ボタンが正しく押されていません。設定をやり直してみてください。	82

	こんなときは	ここを確認してください	参照 ページ
その他	キーロックの解除 ができない ロゴ暗証番号・暗 証番号を忘れた	● お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口 へご相談ください。	
	ボタンを押したの に、  が表示 された	● プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお 知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみ てください。	

付 録

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログのとき

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード 1～5」は含みません。）接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA1	640x480	31.47	59.88
VGA2	720x400	31.47	70.09
VGA3	640x400	31.47	70.09
VGA4	640x480	37.86	74.38
VGA5	640x480	37.86	72.81
VGA6	640x480	37.50	75.00
VGA7	640x480	43.269	85.00
MAC LC13	640x480	34.97	66.60
MAC 13	640x480	35.00	66.67
480p	640x480	31.47	59.88
575p	768x575	31.25	50.00
575i	インターレース	15.625	50.00
480i	インターレース	15.734	60.00
SVGA1	800x600	35.156	56.25
SVGA2	800x600	37.88	60.32
SVGA3	800x600	46.875	75.00
SVGA4	800x600	53.674	85.06
SVGA5	800x600	48.08	72.19
SVGA6	800x600	37.90	61.03
SVGA7	800x600	34.50	55.38
SVGA8	800x600	38.00	60.51
SVGA9	800x600	38.60	60.31
SVGA10	800x600	32.70	51.09
SVGA11	800x600	38.00	60.51
MAC16	832x624	49.72	74.55
XGA1	1024x768	48.36	60.00
XGA2	1024x768	68.677	84.997
XGA3	1024x768	60.023	75.03
XGA4	1024x768	56.476	70.07
XGA5	1024x768	60.31	74.92
XGA6	1024x768	48.50	60.02

コンピュータの信号がアナログのとき (つづき)

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
XGA7	1024x768	44.00	54.58
XGA8	1024x768	63.48	79.35
XGA9	インターレース	36.00	87.17
XGA10	1024x768	62.04	77.07
XGA11	1024x768	61.00	75.70
XGA12	インターレース	35.522	86.96
XGA13	1024x768	46.90	58.20
XGA14	1024x768	47.00	58.30
XGA15	1024x768	58.03	72.00
MAC19	1024x768	60.24	75.08
SXGA1	1152x864	64.20	70.40
SXGA2	1280x1024	62.50	58.60
SXGA3	1280x1024	63.90	60.00
SXGA4	1280x1024	63.34	59.98
SXGA5	1280x1024	63.74	60.01
SXGA6	1280x1024	71.69	67.19
SXGA7	1280x1024	81.13	76.107
SXGA8	1280x1024	63.98	60.02
SXGA9	1280x1024	79.976	75.025
SXGA10	1280x960	60.00	60.00
SXGA11	1152x900	61.20	65.20
SXGA12	1152x900	71.40	75.60
SXGA13	インターレース	50.00	86.00
SXGA14	インターレース	50.00	94.00
SXGA15	1280x1024	63.37	60.01
SXGA16	1280x1024	76.97	72.00
SXGA17	1152x900	61.85	66.00
SXGA18	インターレース	46.43	86.70
SXGA19	1280x1024	63.79	60.18
SXGA20	1280x1024	91.146	85.024
SXGA +1	1400x1050	63.979	60.190
SXGA +2	1400x1050	65.346	60.116
SXGA +3	1400x1050	65.121	59.902
MAC21	1152x870	68.68	75.06
MAC	1280x960	75.00	75.08
MAC	1280x1024	80.00	75.08
WXGA1	1366x768	48.36	60.00

コンピュータの信号がアナログのとき (つづき)

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
WXGA2	1360x768	47.70	60.00	
WXGA3	1376x768	48.36	60.00	
WXGA4	1360x768	56.16	72.00	
WXGA6	1280x768	47.776	59.870	
WXGA7	1280x768	60.289	74.893	
WXGA8	1280x768	68.633	84.837	
WXGA9	1280x800	49.600	60.050	
UXGA1	1600x1200	75.00	60.00	*1
UXGA2	1600x1200	81.25	65.00	*1
UXGA3	1600x1200	87.5	70.00	*1
UXGA4	1600x1200	93.75	75.00	*1
720p	1280x720	45.00	60.00	
1035i	インターレース	33.75	60.00	
1080i	インターレース	33.75	60.00	
1080i	インターレース	28.125	50.00	

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

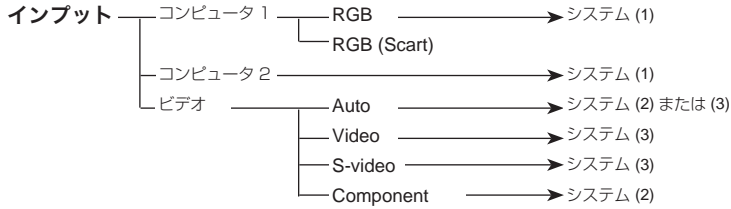
※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応していません。

※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i の信号を投射するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

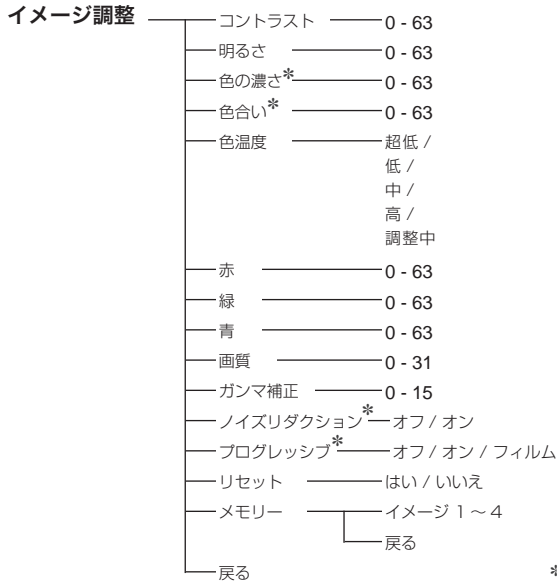
*1：「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

メニュー内容一覧

インプット：コンピュータ/ビデオ

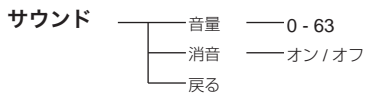


イメージ調整



* ビデオ入力の際のみ表示

サウンド



メニュー内容一覧 (つづき)

コンピュータ入力

SVGA 1

- システム (1)
 - モード 1
 - モード 2
 - XGA 1
 -

※ 表示される内容は入力された信号によって異なります。



イメージ選択

- ダイナミック
- 標準
- リアル
- 黒 (緑) 板
- カラーボード
- イメージ 1
- イメージ 2
- イメージ 3
- イメージ 4



PC 調整

- 自動 PC 調整
- トラッキング ——— 0 - 31
- 総ドット数
- 水平位置
- 垂直位置
- コンピュータ情報
- クランプ
- 画面領域 H
- 画面領域 V
- リセット ——— はい / いいえ
- データ消去
 - モード 1
 - モード 2
 - モード 3
 - モード 4
 - モード 5
 - 戻る
- メモリー
 - モード 1
 - モード 2
 - モード 3
 - モード 4
 - モード 5
 - 戻る
- 戻る



スクリーン

- ノーマル
- リアル
- ワイド
- フル
- デジタルズーム +
- デジタルズーム -
- 戻る

ビデオ入力

Auto

- システム (2)
- Auto
 - PAL
 - SECAM
 - NTSC
 - NTSC 4.43
 - PAL-M
 - PAL-N

Auto

- システム (3)
- Auto
 - 1080i
 - 1035i
 - 720p
 - 575p
 - 480p
 - 575i
 - 480i



イメージ選択

- ダイナミック
- 標準
- シネマ
- 黒 (緑) 板
- カラーボード
- イメージ 1
- イメージ 2
- イメージ 3
- イメージ 4



スクリーン

- ノーマル
- ワイド
- 戻る

セッティング



セッティング
(第一画面)

- 言語
 - 英語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - スウェーデン語
 - ロシア語
 - 中国語
 - 韓国語
 - 日本語
 - 戻る
- ズーム
- キーストーン
- 均一性調整
- ブルーバック
- オンスクリーン表示
- ロゴ
 - ロゴ選択
 - キャプチャー
 - ロゴ暗証番号ロック
 - 戻る
 - メモリー 1 / メモリー 2 / リセット
 - メモリー / リセット
 - メモリー 1 / メモリー 2 / リセット
 - オン / オフ
 - オン / カウントダウンオフ / オフ
 - オフ / 初期設定 / ユーザー
 - はい / いいえ
 - オン / オフ
 - ロゴ暗証番号変更
 - 戻る

メニュー内容一覧 (つづき)

セッティング



セッティング (第二画面)

- 天吊り ————— オン / オフ
- リア投映 ————— オン / オフ
- 端子 ————— コンピュータ2 / モニター出力
- 自動入力切換 ————— オフ / オン1 / オン2
- パワーマネージメント ————— オフ / 待機 / シャットダウン
 - 1 ~ 30 (タイマー : 分)
 - 戻る
- オンスタート ————— オン / オフ
- ランプコントロール ————— オート / ノーマル / エコ

セッティング (第三画面)

- リモコンコード ————— コード1 / コード2
- セキュリティ ————— キーロック
 - オフ
 - プロジェクター
 - リモコン
- 暗証番号ロック
 - オフ / オン1 / オン2
 - 暗証番号変更
- アラーム
 - オフ
 - 充電
 - 充電中
 - アラーム音量
 - 感度
 - アラーム時間
 - 戻る
 - オン
- 戻る
- ファン ————— L1 / L2
- ランプカウンター ————— 時間 (使用時間)
 - リセット ————— はい / いいえ
 - 戻る
- フィルターカウンター ————— 時間 (使用時間)
 - オフ / 100 時間 / 200 時間 / 300 時間
 - リセット ————— はい / いいえ
 - 戻る
- 初期設定 ————— はい / いいえ
- 戻る

仕様

プロジェクター本体

型名	LP-XL50
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3 枚 3 原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ: 0.8 型 x 3 アスペクト比 4:3 駆動方式: ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式 画素配列: ストライプ、画素数: 786,432 画素 (1,024 × 768) × 3 枚 総画素数 2,359,296 画素
投射レンズ	固定超短焦点レンズ F=1.85 f=4.83mm
光源	275W NSHA ランプ
画面サイズ	最小 60 ~ 最大 80 型 (約 -4.0cm ~ 約 8.1cm) ※ プロジェクターからスクリーンまでの距離
フォーカス調整	手動
入出力 COMPUTER IN 1/2 (可変)	アナログ RGB 入力 (入力 2 系統): ミニ D-sub_15 ピン、BNC x 5 ピン アナログ RGB 信号: 0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期: TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期: 0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω)
MONITOR OUT (可変)	アナログ RGB 出力 (出力 1 系統): ミニ D-sub_15 ピン
COMPONENT IN	コンポーネント: セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、BNC x 5 ピン Y: 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb: 0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr: 0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
VIDEO IN	映像: ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω
S-VIDEO IN	S 映像: セパレート YC 信号、ミニ DIN_4 ピン Y: 1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C: 0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω
音声 AUDIO IN	ピンジャック、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 (左モノ: 右)
AUDIO IN COMPUTER	ミニジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上
AUDIO OUT	(コンピュータ / ビデオ兼用): ミニジャック (ステレオ)、可変出力、 インピーダンス 1K Ω以下
制御入出力、他	コントロールポート: ミニ D-sub 9 ピン
音声出力	モノラル 2W (JEITA)
スピーカ	5.0 cm 円形 1 個

プロジェクター本体（つづき）

走査周波数	水平 15k ~ 100kHz、垂直 50 ~ 100Hz
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	390W、10W (待機中消費電力)
本体寸法	幅 374 × 高さ 196.8 × 奥行 495 mm (調整脚を含む)
質量	7.6 Kg

リモコン

電源	DC3.0V 単 3 形アルカリ乾電池 2 本使用
到達距離	約 3.5m (受信部正面)
本体寸法	幅 49 × 高さ 22 × 奥行 145.3mm
質量	100g (電池を含む)

付属品

- リモコン (CXWW) 1 個
- リモコン用アルカリ乾電池 (単 3 型) 2 本
- 電源コード 1 本
- 電源プラグアダプタ 1 個
- コンピュータケーブル (D-sub 用) 1 本
- 取扱説明書 1 冊
- お客さまご相談窓口一覧 1 枚
- 保証書
- 交換用ランプ品番 シール 1 枚
- PIN code lock シール 1 枚
- Alarm Protected シール 1 枚
- 縦置きスタンド 1 個
- 縦置きスタンド用ネジ 3 本

別売品

- 天吊金具用ベース金具 品番：POA-CHB-XL50
- 高天井用天吊金具 品番：POA-CHL-PL02
- 低天井用天吊金具 品番：POA-CHS-PS02
- 壁掛け金具 品番：POA-CH-EX03
- ミニ D-sub 延長ケーブル (10m) 品番：KA-MC-DB10

各プロジェクターによって色味が異なります。

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせて投映される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

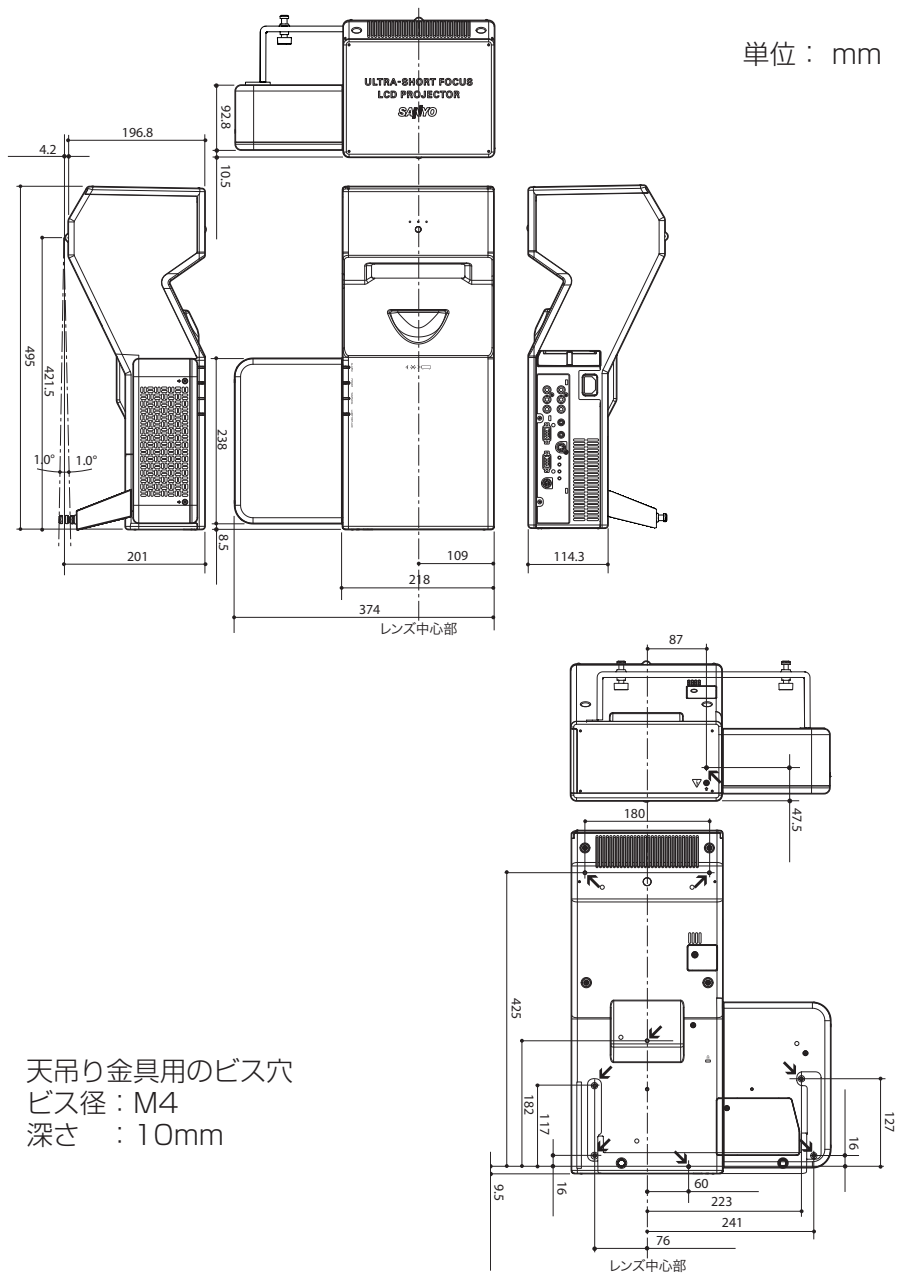
- ※ 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2:2005 適合品
- ※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。

- ※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
- ※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図

単位：mm



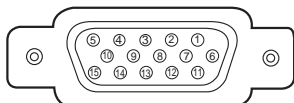
天吊り金具用のビス穴
 ビス径：M4
 深さ：10mm

端子の仕様

COMPUTER IN 1 / 2 / MONITOR OUT (コンピュータ入力 / モニター出力端子)

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続したり、コンピュータへアナログ RGB 出力を出したりする端子です。接続には、コンピュータ接続ケーブル (D-sub 用) を使用します。

ミニ D-sub 15 ピン

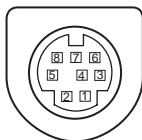


1	R 入出力	9	+5V パワー / 未接続
2	G 入出力	10	接地 (垂直同期)
3	B 入出力	11	接地 / 未接続
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期 入出力 (コホジット: 水平垂直同期)
6	接地 (R)		
7	接地 (G)	14	垂直同期 入出力
8	接地 (B)	15	DDC クロック / 未接続

SERVICE PORT (サービス用端子)

サービスマンが使用する端子です。

ミニ DIN 8 ピン



1	R X D	5	RTS / CTS
2	未接続	6	T X D
3	未接続	7	接地
4	接地	8	接地

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなったり、アラームの設定を変更できなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなったり、アラームの設定の変更ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック
の暗証番号

--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号： 1 2 3 4*

ロゴ暗証番号ロック
の暗証番号

--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号： 4 3 2 1*

盗難防止アラーム
の暗証番号

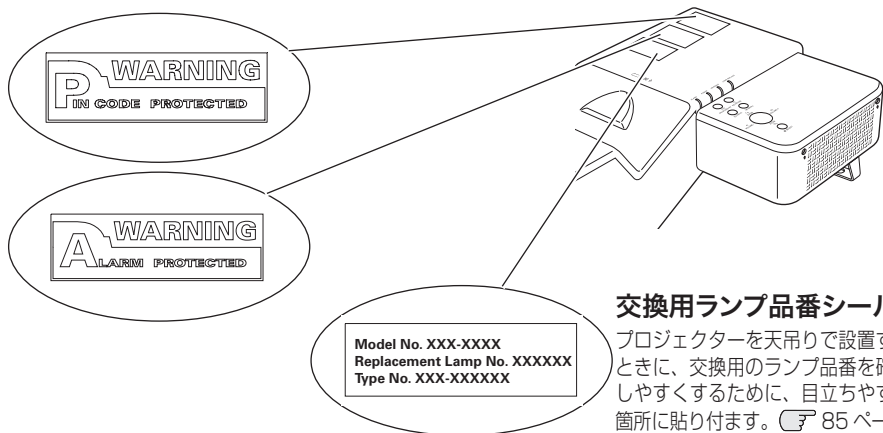
--	--	--	--

工場出荷時の暗証番号： 1 1 1 1*

* 暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。



交換用ランプ品番シール

プロジェクターを天吊りで設置するときに、交換用のランプ品番を確認しやすくするために、目立ちやすい箇所に貼り付ます。☞ 85 ページ

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より、

本体・・・・・・・・・・1年間

ただし光学部品（液晶パネル、偏光板、PBS）については1年間、

またはご使用時間1,500時間のどちらか早い方

光源ランプ・・・・・・・・ランプ使用時間500時間

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がございましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検

● 長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品番	LP-XL50
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー

プロジェクター事業部

商品部 商品二課

〒574-8534 大阪府大東市三洋町1-1